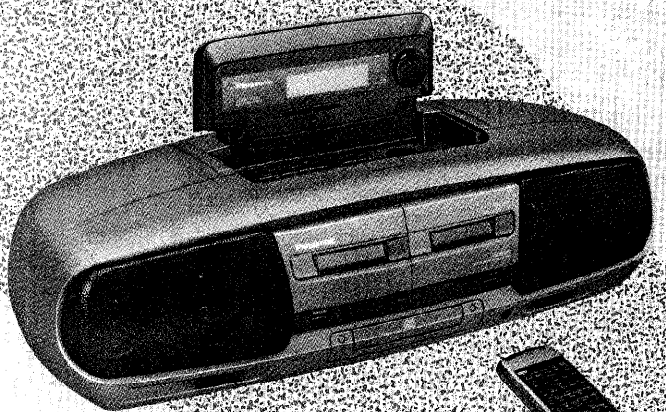


Panasonic




ポータブルステレオCDシステム

品番 RX-DT77

取扱説明書



COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

	はじめに.....	5
	CDを聞く.....	12
	ラジオ/テレビを聞く.....	20
	テープを聞く.....	26
	録音する.....	30
	タイマーを使う.....	48
	その他の機能・ご参考.....	56

保証書別添

上手に使って上手に節電

■取扱説明書と保証書は、よくお読みの上、大切に保管してください。

■保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。



(よく使う機能のページに印を付けておくと便利です。)

	タイトル	主な内容
はじめに	はじめに……………5	●安全のために、特に気をつけていただきたいこと
	電 源……………6	●電源コードの接続 ●乾電池の入れかた/出しかた
	リモコンの準備……………8	●乾電池の入れかた/出しかた ●操作上の注意
	便利な機能……………9	
	現在時刻を合わせる……………10	●時間、分の合わせかた
CDを聞く	1曲目から順に聞くには……………12	●電源を入れてから演奏までの基本操作 音量/音質調整、停止などの操作
	好みの曲を選んで聞くには……………14	
	予約した曲を取消すには……………16	●曲の予約と取消しかた
	好みの曲から聞くには……………16	
	くり返し聞くには……………17	
	曲を順不同に聞くには……………17	●CDをBGM代わりに聞く
	曲の頭出しをするには……………18	●前の曲や、次の曲への飛び越し
	聞きたいところをさがすには……………18	●曲中の早送り/早戻し
	コンパクトディスクについて……………19	●取扱い/保管/手入れのご注意
ラジオ・テレビを聞く	放送局を選局し、本体でメモリーするには……………20	●受信のしかた
	放送局を選局し、リモコンでメモリーするには……………22	●ワンタッチで選局できる機能の準備操作と放送局の呼出し
	メモリーした放送局を聞くには……………24	
	テレビの音声多重放送を聞くには……………25	●ステレオ放送との違い ●主音声と副音声の切換えかた
テープを聞く	テープを聞く……………26	●テープ再生の基本操作
	曲の頭出しをするには……………28	
	テープカウンタの使いかた……………28	
	オートリバースについて……………29	●リバースモードの種類とその特長
	ドルビーNRについて……………29	●テープの雑音を減らすドルビーNR
	その他の機能……………29	

タイトル

録音をするまえに	30
録音レベルについて	30
ディスプレイの表示を切換えるには	30
テープについて	31
録音を消すには	31
CDを録音する	32
CDの曲順通りに編集録音	34
CDの曲順通りに全曲を編集録音	36
曲順を入れ換えてでも全曲を編集録音	38
好みの曲を選んで編集録音	40
引き続き別のCDを編集録音	42
ラジオ/テレビを録音する	44
テープからテープへ録音する	46

主な内容

- ここを知っておいてください
- CD編集録音機能の内容と用途一覧
- 途中で曲が途切れることなく、CDを録音する機能の操作(5種類の録音パターンがあります。)
- エアチェック(ラジオ放送の録音)のしかた

タイマーを使う	48
おめざめタイマーを使う	48
留守録タイマーを使う	50
おやすみタイマーを使う	52
おやすみ、おめざめ、留守録タイマーを合わせて使う	54

- タイマー別の予約操作のしかた
- 組み合わせると、こんな使いかたができます

CDのタイトルや、放送局名を登録する	56
テープなどに合わせてマイクで歌う (カラオケ)	58
外部機器との接続	59
お手入れ	60

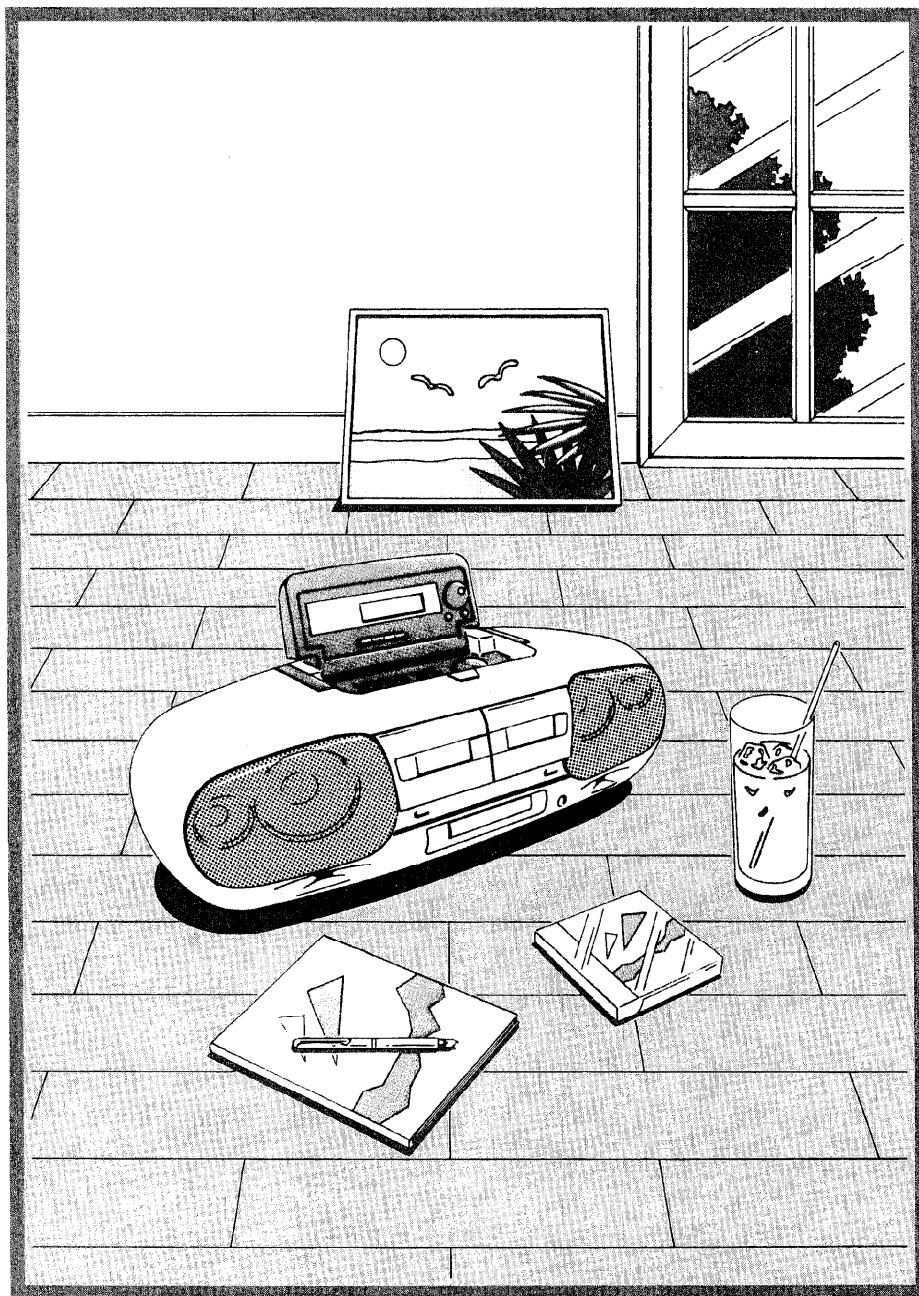
- CDのタイトル名や、放送局名の登録
- 演奏のしかた
- 録音のしかた
- システムアップ例
- セットを長持ちさせるためのポイントは

使用上のご注意	61
故障!?!と思うまえに	62
アフターサービス	63
ご存じでしたか?	63
定 格	裏表紙

- 設置場所、取扱いなど、気をつけていただきたいこと
- 故障と思われがちな症状とその処置
- 故障したときの処置
- 著作権について
- 本機のプロフィール

Panasonic Portable Stereo CD System

このたびは、パナソニック「ポータブルステレオCDシステムRX-DT77」を
お求めいただきまして、まことにありがとうございました。



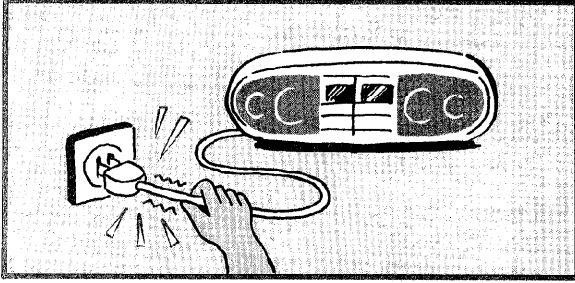
はじめに

こんなことに気をつけて!

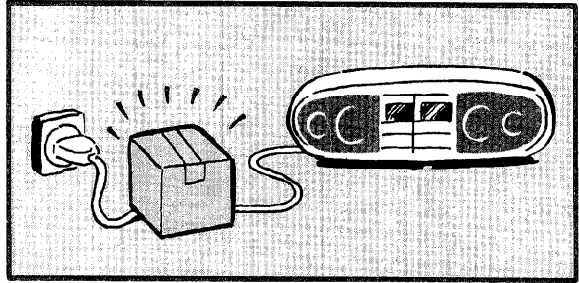
事故につながるおそれがありますので、次のことは必ずお守りください。

■電源コードの取扱いにご注意

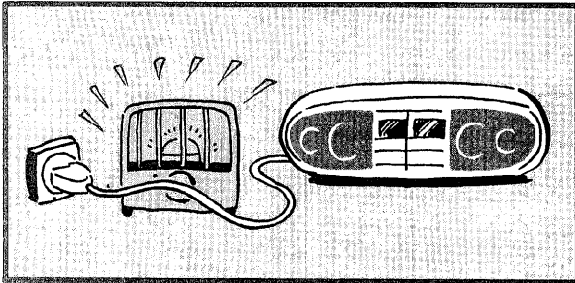
必ずプラグを持って。



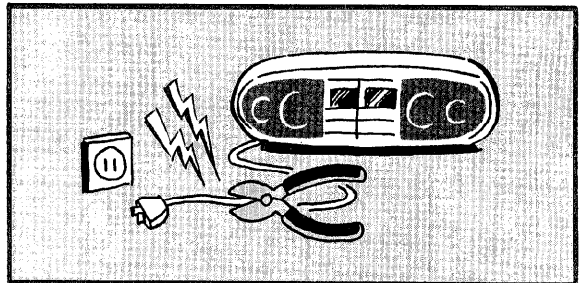
上に重いものを載せない。



熱器具に近づけない。

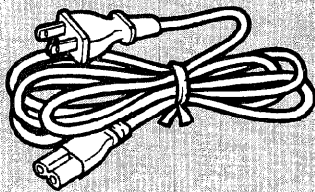


コードを継ぎ足すなどの加工をしない。

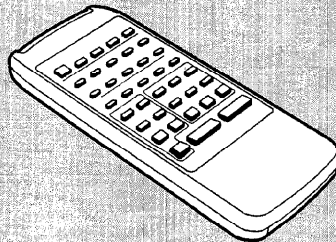


付属品を確かめる

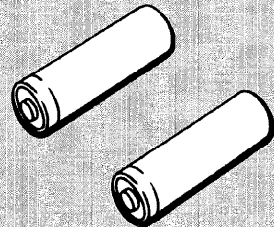
●電源コード 1
(RJA00 2-K)



●リモコン 1



●リモコン用乾電池 2

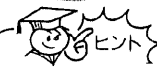
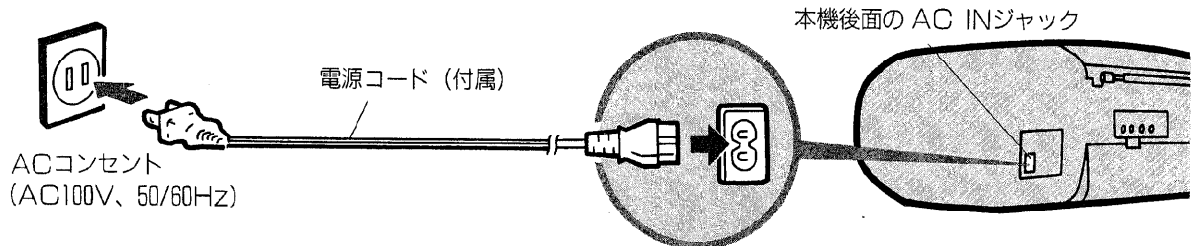




電源

本機は、家庭用電源と乾電池で使える、2電源方式です。

家庭用電源(AC)で



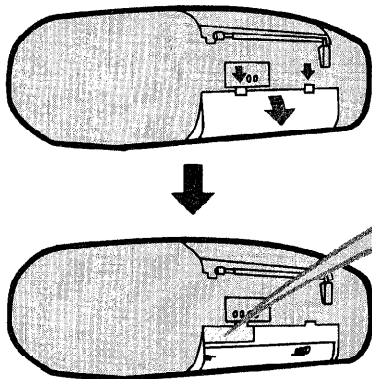
節電のために

長期間使用しないときは、電源コードは本体、コンセント側とも抜いておきます。(電源が切れていても、コード接続中は約3.4Wの電力を消費しています。)

時計/メモリー用乾電池(別売り)のセット

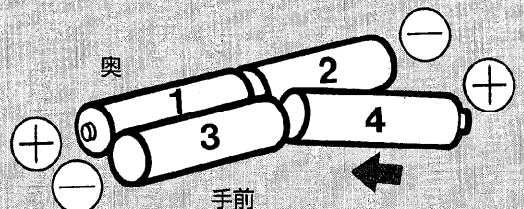
停電や、乾電池の消耗時に、セットしたメモリーが消えたり、時計が止まることを防ぐために、メモリー用の乾電池をセットすることをおすすめします。

①乾電池ケースふたを開ける

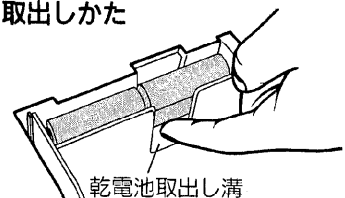


②乾電池を番号順に入れる

単3形乾電池(R6P/LR6)4個(別売り)
⊖側に押しながら入れる。



■取出しかた



■交換時期

寿命は約1年です。

すべて新しい乾電池と交換してください。

(交換時にメモリーが消えることを防ぐため、家庭用電源に接続してから行ないます。)

メモリーのバックアップ(保持)について

本機のチューナ、CD、時計/タイマーのプログラムメモリーは、AC使用時はACで、乾電池(別売り単一形乾電池)使用時は乾電池で保持しています。時計/メモリー用乾電池を使用していない場合、停電(AC使用時)またはつぎの操作を行なったときメモリーが消えます。

- ACで使用時、電源コードをACコンセントから抜いたとき
 - 乾電池(単一形乾電池)で使用時、ACコンセントに差込まれていない電源コードを本機のAC INジャックに差込んだとき
- このときは、もう一度メモリーしてください。

マルチディスプレイに^{タイマー}TIMERインジケータが表示しているときは、電源が入りません。



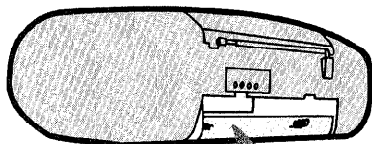
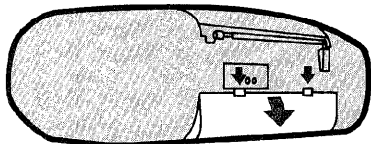
その場合は、^{タイマー}TIMERキーを押して、インジケータの表示を消してから、電源を入れてください。

電源

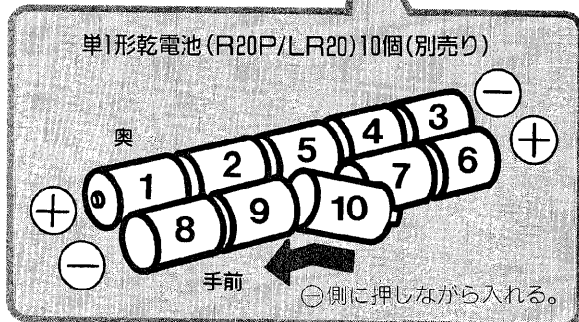
乾電池(別売)電源で

注：セット前面を下にして乾電池を入れるときは、傷がつかないように、柔らかい布を敷いて行なうことをおすすめします。

①乾電池ケースを開ける



②乾電池を番号順に入れる



■乾電池で聞くには

電源コードを本体から抜きます。

(接続されていますと乾電池電源に切りかわりません。)

■交換時期

CDの連続演奏時：約3時間

ラジオ/テープの連続演奏時：約4時間

(パナソニックネオブラックR20P使用時)

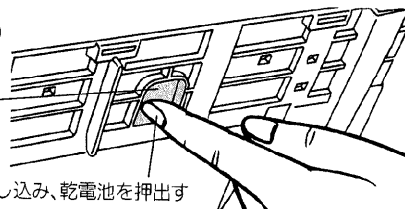
- セット前面のバッテリーチェックインジケータの点灯状態でも確認できます。(P61ページ)



乾電池は、連続して使用するよりも、こまめに電源を切りながら使うほうが、寿命を延ばすことができます。

■取出しかた

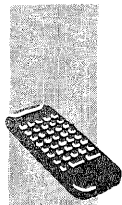
本機の底面の
乾電池
取出し穴



指を差し込み、乾電池を押し出す

■乾電池使用上のご注意

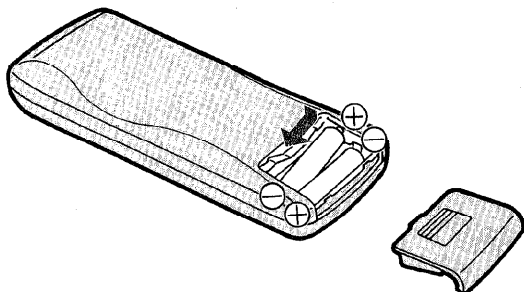
長期間使用しないときや、いつも家庭用電源で使用するときは、乾電池の漏液による損傷を防ぐため、乾電池を取出しておいてください。



リモコンの準備

乾電池(付属)を入れる

単4形乾電池 2個



■交換時期

使用回数で異なりますが、付属の乾電池（パナソニックネオブラックR03P）使用の場合は約1年間です。

■取出しかた

乾電池の⊖側を押します。

リモコンでの電源の入/切は

●家庭用電源でご使用中は：


リモコンで「入」、「切」ともできます。


●乾電池電源でご使用中は：

リモコンでは「切」のみできます。

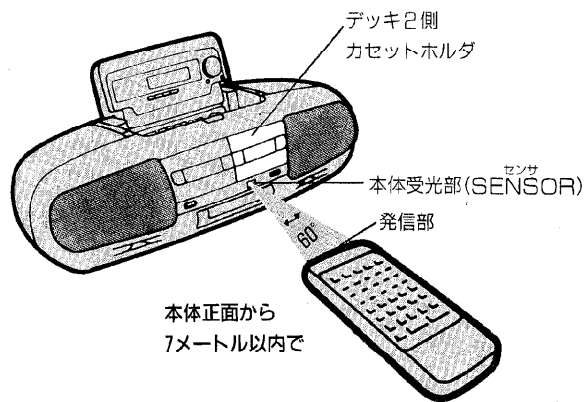
（乾電池の消耗を防ぐためです。）

その他、本体の操作つまみと同じマークのあるものは機能も同じです。

本 体： 

リモコン： SLEEP 

正しい使いかた



- 受光部、発信部のほごりに注意
- 途中、障害物は置かない
- 他のリモコンと併用しない
- AM放送受信中、雑音が出るときはリモコンを離す
- カセットホルダは閉じておく
（デッキ2側のホルダが開いていると、リモコン操作はできません。）
- 本体受光部に強い光（直射日光、高周波点灯の蛍光灯など）をあてない。
- リモコンを分解したり、内部に触れない。
- 重いものを載せたり、直射日光のあたるところ、暑いところに放置しない。
- リモコンに飲物類など液状のものがかかると、故障の原因に。

便利な機能


本機に搭載されている大容量のAI(人工知能)マイコンには、次のような機能があります。

AI(人工知能)ジョグダイヤル


ディスプレイを見ながらダイヤルを回すことにより、次の操作を一連の同じ手順で行なうことができます。

- ①現在時刻や、タイマー時刻の調整
- ②ラジオ・テレビサウンドの選局
- ③CDの選曲やプログラム操作
- ④CDの編集(エディット)操作
- ⑤CDのタイトルや、放送局名の登録、表示




ワンタッチプレイ機能 (AC電源で使用時のみ)

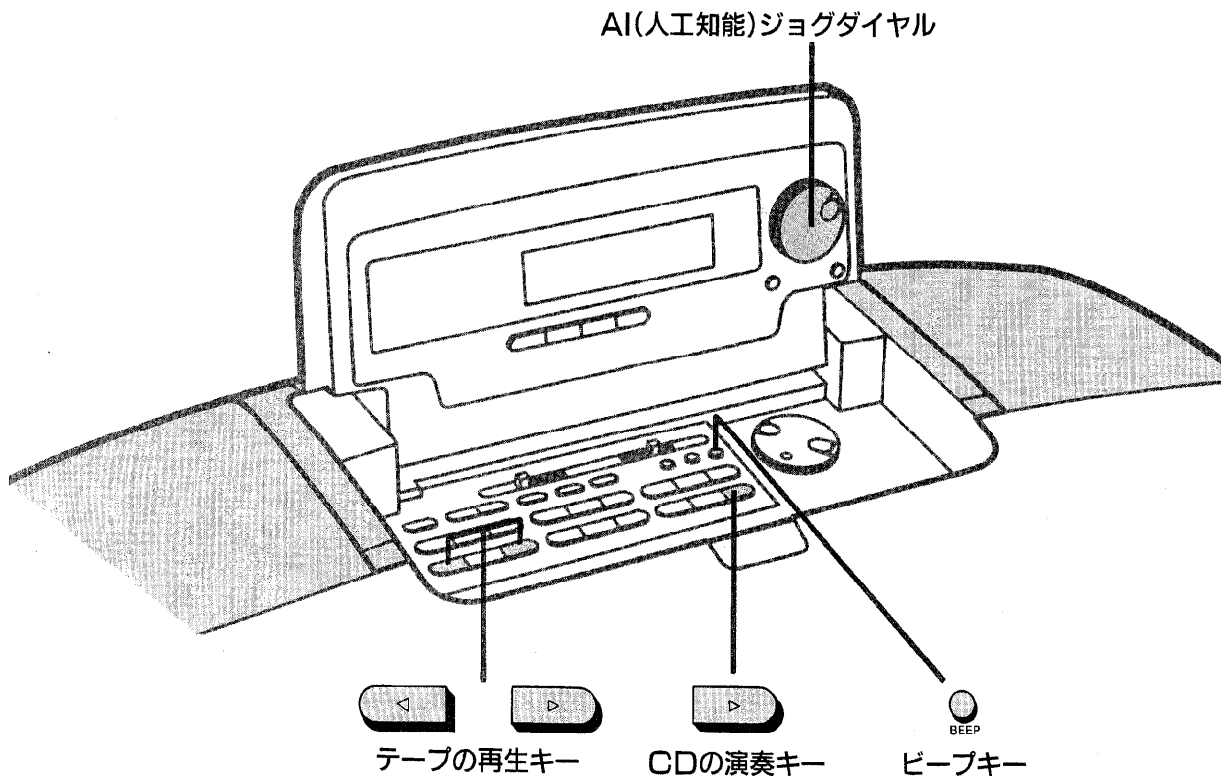
すでにテープやCDが入っている場合には、演奏キーを押すだけで電源が入り、CDの演奏、またはテープの再生が始まります。また、ラジオ/テレビを聞くとときには、キーを押すだけで放送が聞けます。なお、リモコンでは緑色のキーがワンタッチプレイキーになります。

ビープトーン機能

- 操作ボタンを押すと“ピッ”という確認音を鳴らすことができます。リモコン使用時の動作確認に便利です。
- CDを聞くと、ディスクに無い曲番を指定したときなど、誤ったボタンが押されたときは、“ピピッ”という警告音で知らせてくれます。
- キーを押すごとに、ビープトーンの入/切ができます。

オートファンクション機能

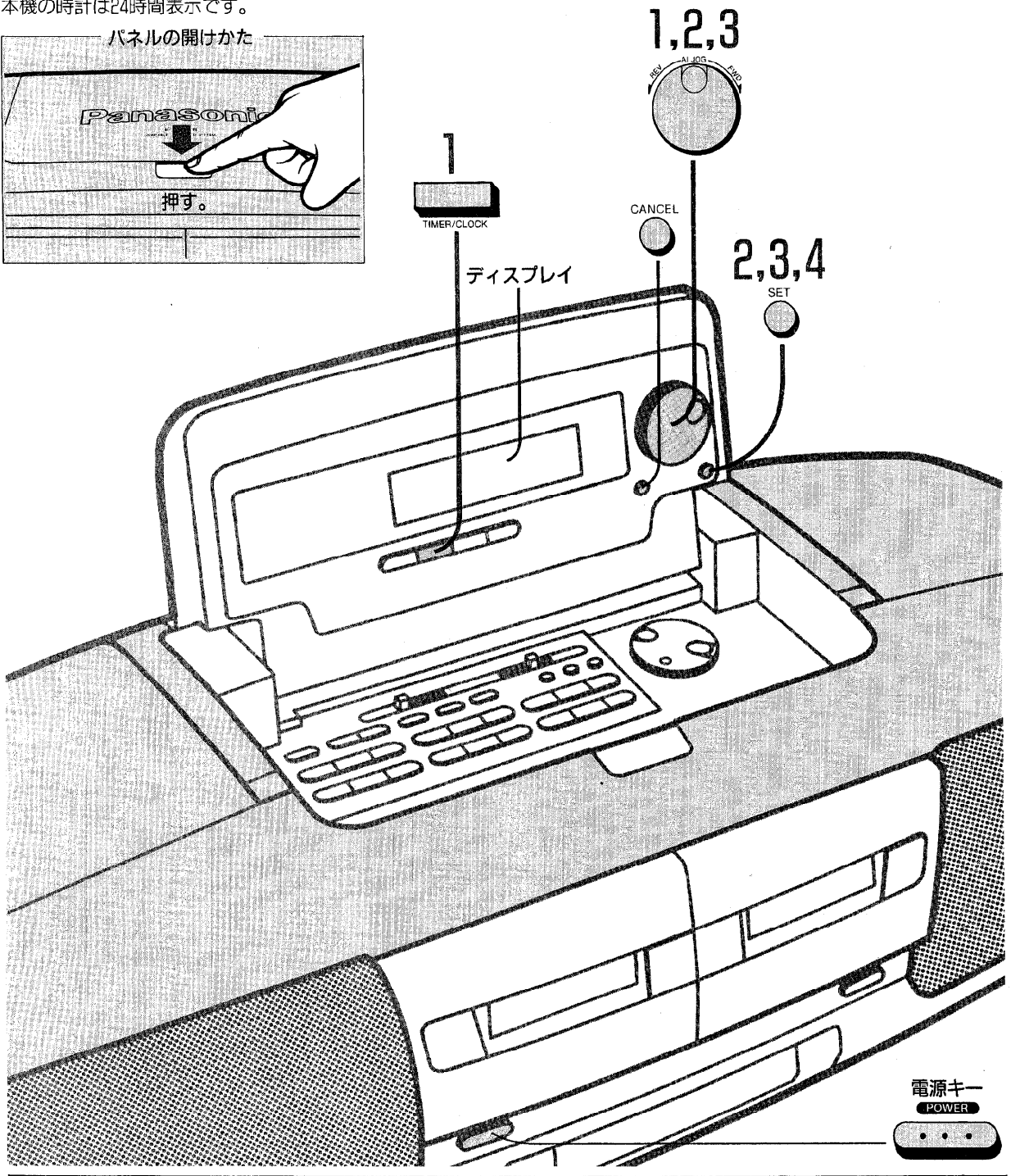
ラジオを聞いているときでも、CDやテープがすでに入っているときには、CDの 、またはテープの 、 を押すだけで演奏が始まります。(ラジオ、テープ、CDの演奏モードに切替える手順を省くことができます。)





現在時刻を合わせる

本機の時計は24時間表示です。



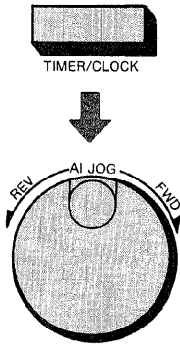
■午後4時20分に合わせるには
 (本機の時計は24時間表示です。16:20とセットします。)

現在時刻を合わせる

操 作	ディスプレイ
-----	--------

■電源キーを押して電源を入れ、

1



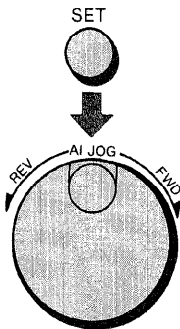
押し、

ダイヤルを回して「^{クロック}CLOCK」を選ぶ
 「P-TIMER」-「R-TIMER」-「SLEEP」-
 「^{クロック}CLOCK」の順に表示されます。
 (右回し時)



モード表示の後、時計が表示されます。
 約10秒以上、次の操作までに間隔があくと、
 元の表示に戻ります。

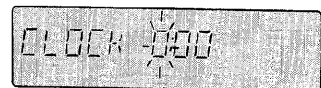
2



押し、

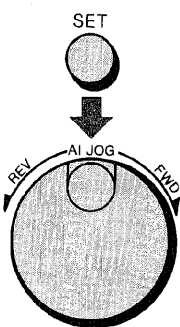
ダイヤルを回して時間(午後4時=16)
 を合わせる。

数字が戻る。 ← 数字が進む。



時間表示が点滅

3



手順2をくり返して分 (=20) を合わせ
 る

分表示が59から00にくり上がっても、時間表示
 はくり上がりません。



分表示が点滅

4



押すと、時計がスタート

元の表示に戻ります。

■正確に合わせるには
 手順3の後、時報とともに手順4をします。

■操作を間違えたときは

CANCEL



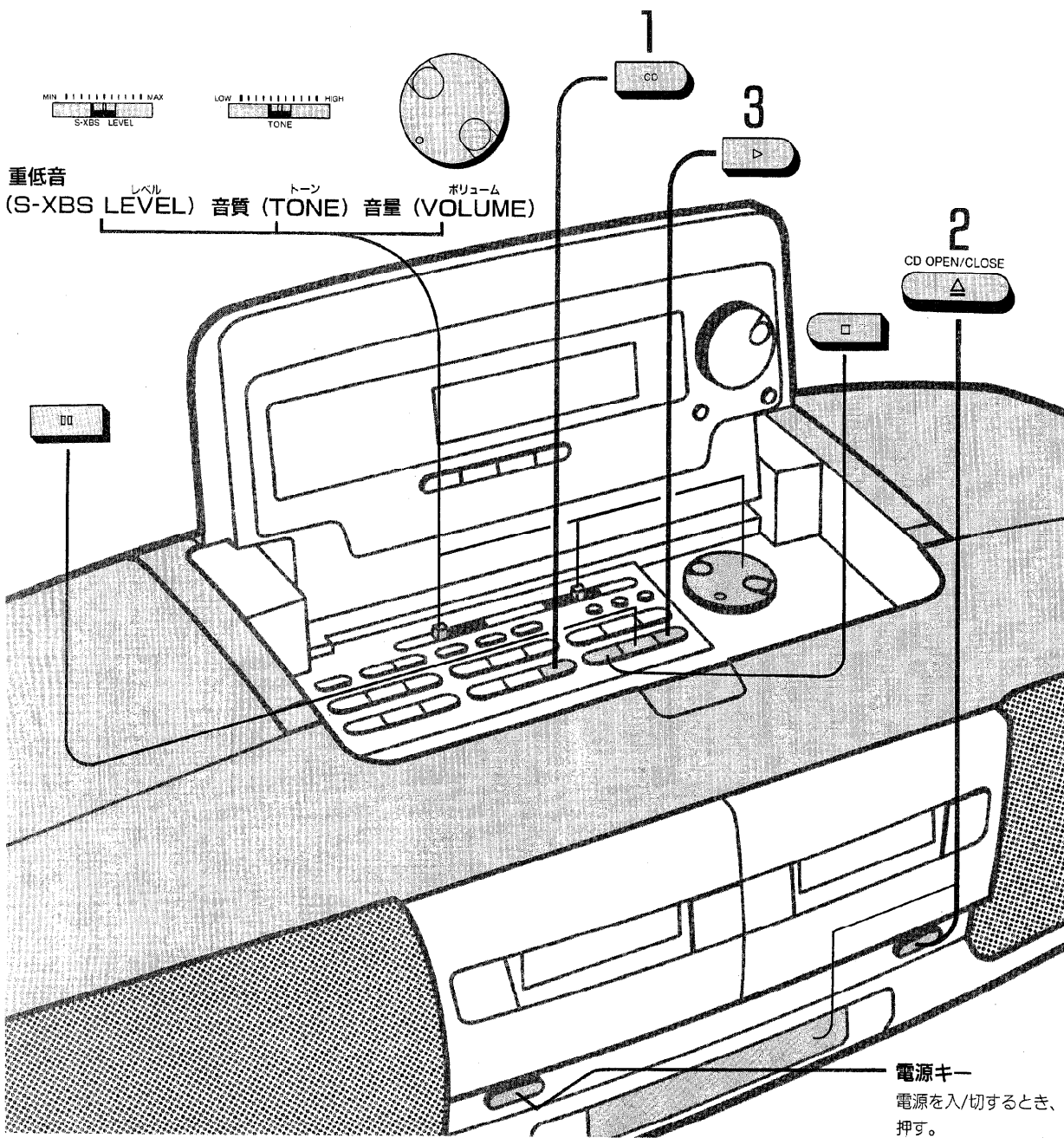
を押すと1つ前の手順に戻ることができます。



CDを聞く

1曲目から順に聞くには

ノーマルプレイ




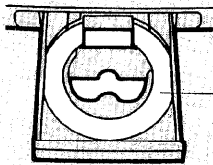


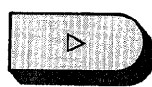

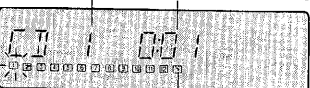


- CDをラジオやテレビの近くで演奏すると、ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。このときはできるだけ離してください。
- 本機の前に物を置かないでください。CDの出し入れ時、トレイが当たるおそれがあります。

■オートクローズ機能

CDのトレイが出た状態で電源を切ると、トレイを本体に収納した後、電源が切れます。

CDを聞く

操 作		ディスプレイ
1	 <p>押す (電源も入ります。)</p>	 <p>ディスクが無いとき表示</p>
2	<p>CD OPEN/CLOSE</p>  <p>押してディスクを入れ、もう一度押す ディスクが回転し、総曲数と総演奏時間を表示 ディスクを入れるときは</p>  <p>8cmCDも、アダプタ なして使用できます。 トレイのくぼみに ディスクを入れます。</p> <p>トレイの中に指を入れないでください。(トレイが閉まる ときに、指をつめる恐れがあります。)</p>	<p>CDインジケータが表示</p>  <p>総曲数 ↓ 総演奏時間</p>  <p>14曲入り、53分05秒のディスクの場合</p> <p>13曲以上入ったCDのときは、多曲インジ ケータが点灯します。</p>
3	 <p>押す 1曲目から順に演奏が始まります。</p>	 <p>演奏中 (点滅) ⇒ 演奏後 (消える)</p> <p>演奏中の曲番 曲ごとの演奏経過時間</p>  <p>13曲目以降の曲では、多曲インジケータが 点滅します。</p>

■音量/音質を調整するには

音 量：音量調整つまみ (VOLUME) で

音 質：音質調整つまみ (TONE) で

重低音：S-XBSレベルつまみ (S-XBS LEVEL) で


S-XBS：Super Extra Bass Systemの略称です。

■演奏を止めるには

CDの  キーを押します。

(最後の曲の演奏終了後は自動的に停止します。)

■すぐに演奏を始めたいときは

手順2でCDを入れてから、直接  を押すと、トレイが本体に収納され、演奏が始まります。

(このとき、ディスプレイに総曲数や総演奏時間は表示されません。)

■演奏を一時止めるには

CDの  キーを押します。

(PAUSE表示の後、以下の表示になります。)



時間ディスプレイが点滅

(もう一度押すと再び演奏が始まります。)

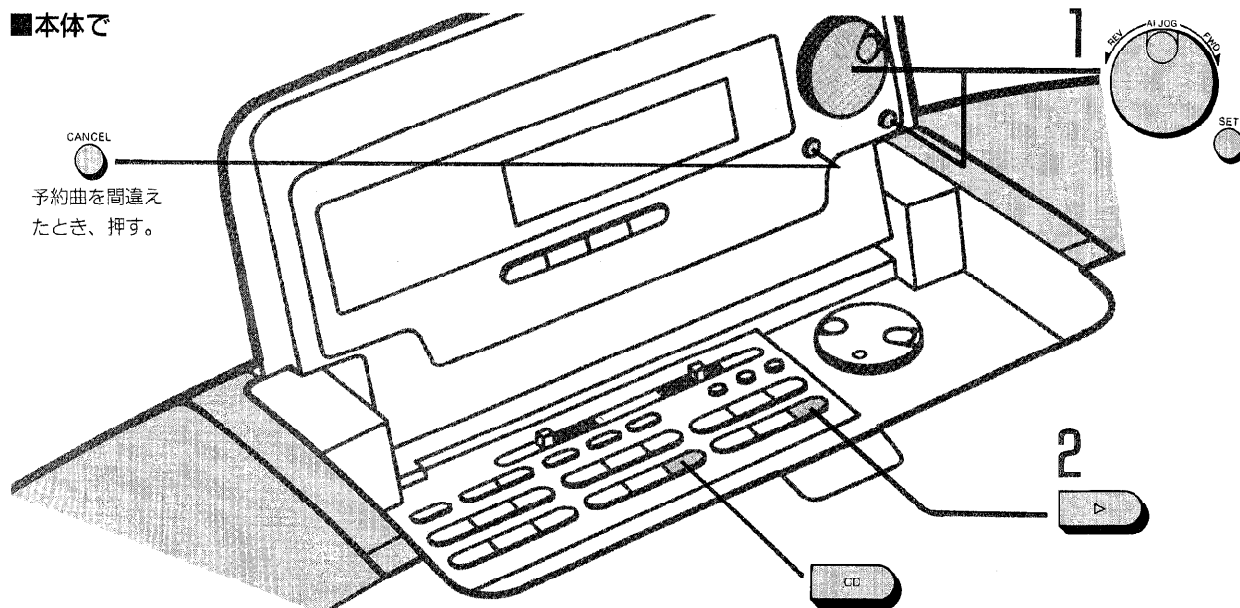
CDを聞く

好みの曲を選んで聞くには

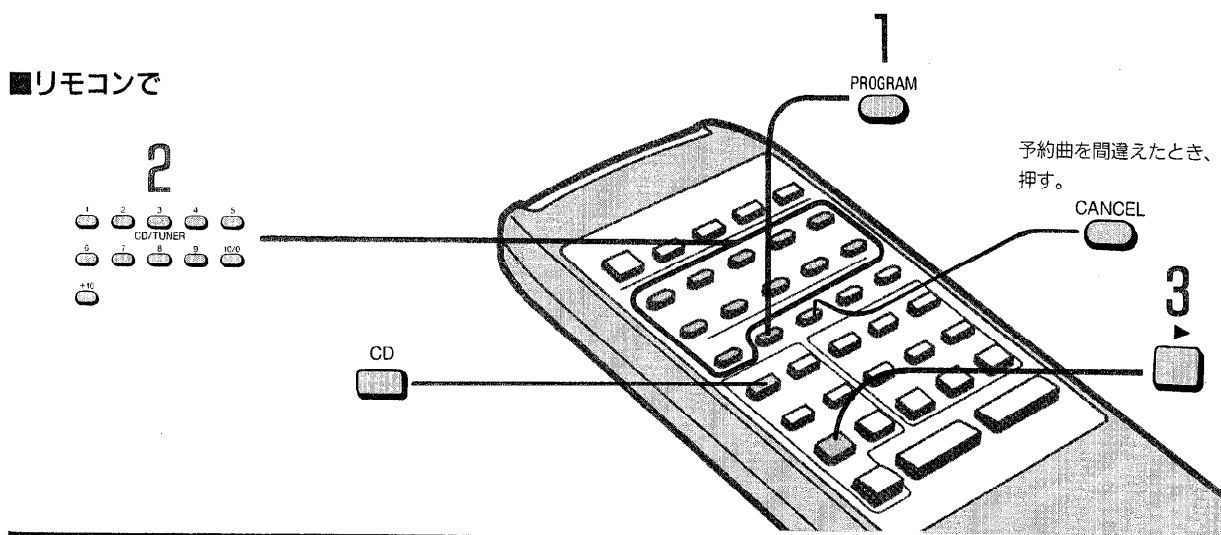
プログラムプレイ

最高36曲までの予約ができます。

■本体で



■リモコンで



- ディスクに無い曲番を指定すると、曲番ディスプレイに「ERROR」(エラー)が表示され、予約できません。
- 予約曲が36曲を越えると、曲番ディスプレイに「FULL」(フル)が表示され、それ以上予約できません。
- 予約曲の演奏時間の合計が120分を越えると、合計時間の表示は「--:--」になります。

■13曲目以上の曲を予約すると
曲番の表示はすべて になります。
(操作に変わりはありません。)

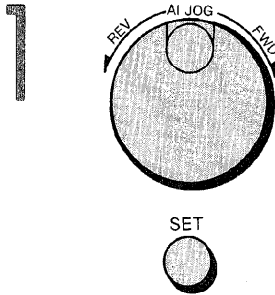
■予約内容を確認するには
停止時に、 / キーを押すと、押すごとに予約した曲番と演奏順をディスプレイ上で確認できます。

CDを聞く

操作 ディスプレイ

CD を押し、ディスクを入れてから

■本体で



1 回して、演奏したい曲を選び、
同じ曲を選ぶときは、ダイヤルを少し回します。



約10秒以上、操作があくと、元の表示に戻ります。

押す
演奏順が表示され、約2秒後に合計時間表示になる
以後、同じ操作をくり返します。



プログラムインジケータが表示

たとえば、3、5、7曲目の順に予約すると...

指定した曲番	演奏順	合計演奏時間	
3	01	6:48	3曲目の演奏時間
5	02	13:18	3曲目と5曲目の演奏時間
7	03	20:23	予約曲の総演奏時間



押す
予約した順序で演奏開始



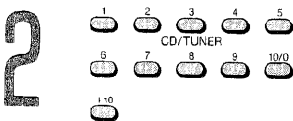
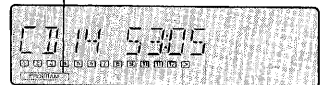
演奏中の曲が点滅し、演奏が終わると消えます。

■リモコンで

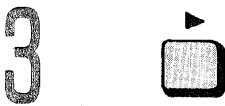


押す

プログラムインジケータが表示



演奏したい曲順に押す



押す
予約した順序で演奏開始



■プログラムメモリー機能

予約した内容は **CANCEL** キーを使って取消すまでメモリーしていますので、途中で演奏を停止したり、その後電源を切っても、CDを取出さないかぎりおぼえています。(タイマー演奏時に便利です。)

このとき、引き続き、曲の予約/変更ができます。

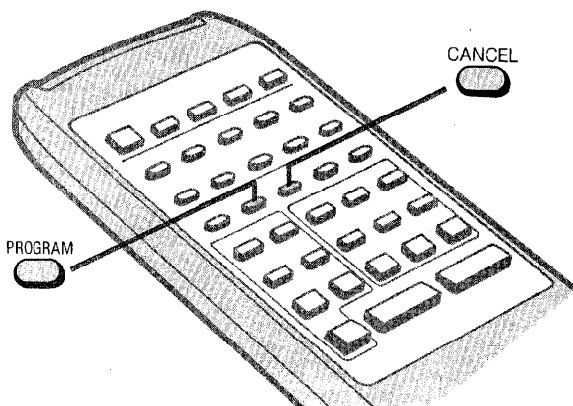


■リモコンで曲を指定するときは

10曲目: 10/0
20曲目: +10 ⇒ +10 ⇒ 10/0
36曲目: +10 ⇒ +10 ⇒ +10 ⇒ 6

CDを聞く

予約した曲を取消すには



●予約した曲をすべて取消すには

1 PROGRAM 停止中に押す

インジケータが約5秒間点滅

2 CANCEL 点滅中に押す

予約が取消される

●最後に予約した曲を取消すには

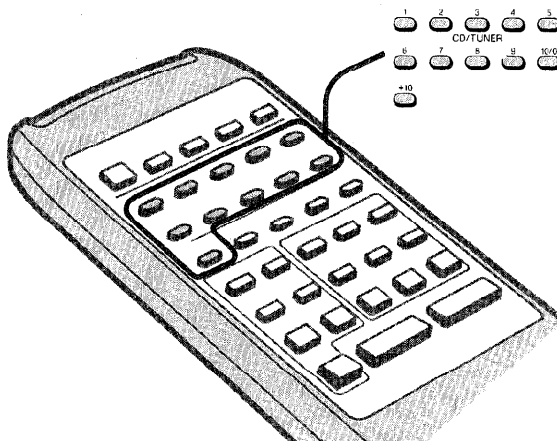
CANCEL 停止中（演奏前）に押す

(本体の CANCEL キーでも取消することができます。)



●途中の曲（5曲中の3曲目など）を取消することはできません。

好みの曲から聞くには ダイレクトプレイ



●たとえば5曲目から聞くととき

5 押す

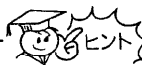
(演奏開始)

●13曲目から聞くととき

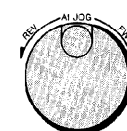
1 +10 →

2 3 →

13曲目以降を演奏したときは
☑ が点滅



本体のジョグダイヤルを使って操作することもできます。



①ダイヤルを回して演奏したい曲を選ぶ。

② [▶] キーを押す。(演奏開始)



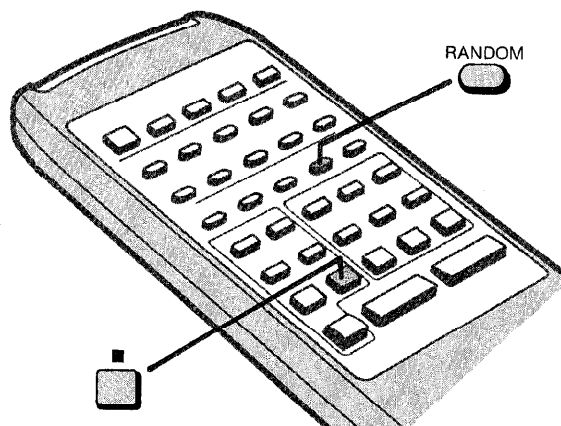
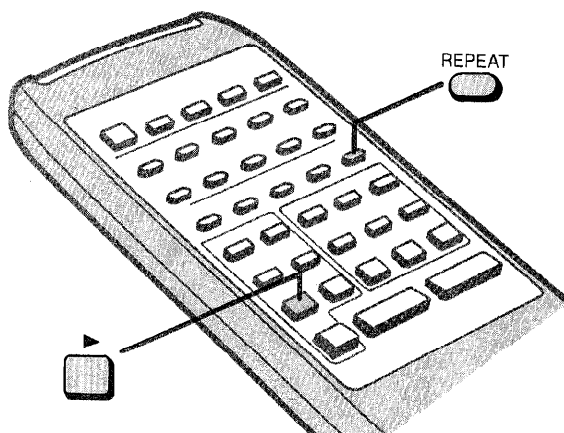
プログラム予約中はダイレクトプレイはできません。(予約曲の追加になります。)

ダイレクトプレイをするときは、予約曲を全て取消してください。

CDを聞く

くり返し聞くには リピートプレイ

曲を順不同に聞くには ランダムプレイ



1 **押す**

↓

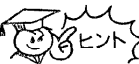
リピートインジケータが表示

2 **押す**

演奏開始。

■取消すには

キーをもう一度押す。
(リピートインジケータが消える。)



1曲だけをくり返し演奏するときは
プログラムプレイで曲を選んでリピートプレイをします。

1 **停止中に押す**

演奏する曲と順序はそのつど変わります。

↓

ランダムインジケータが表示

■取消すには

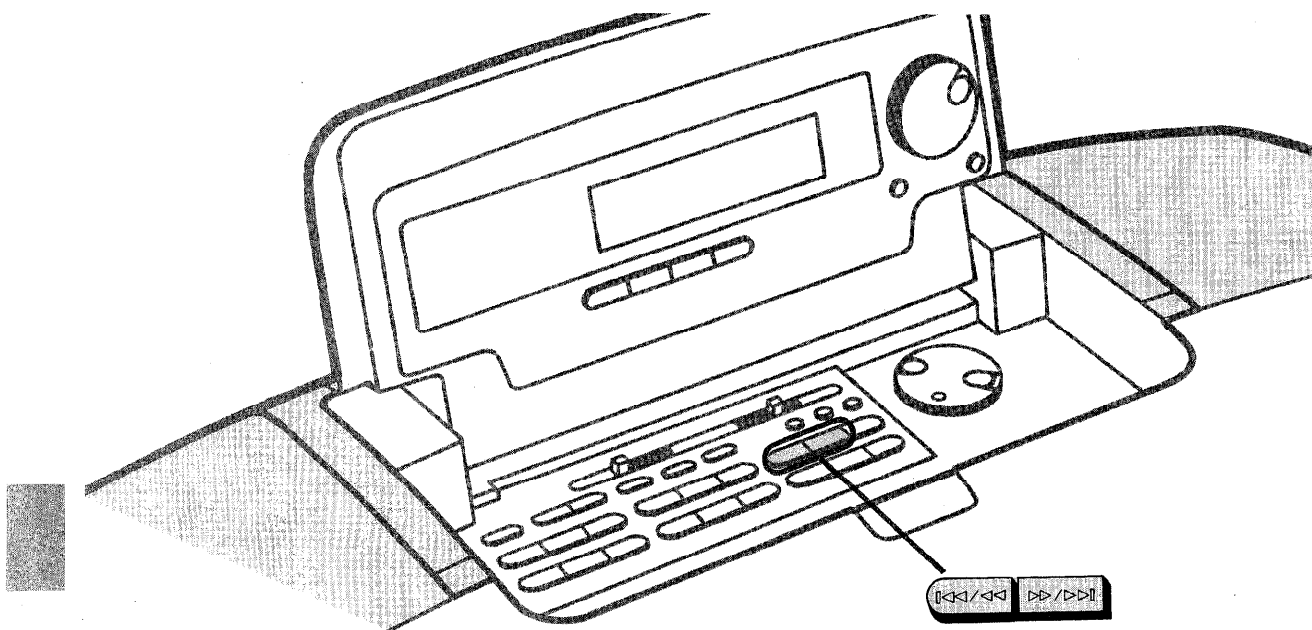
キーをもう一度押します。
(ランダムインジケータが消え、演奏停止。)

キーを押して、演奏を止めても取消すことができます。



プログラムプレイと合わせて演奏することはできません。

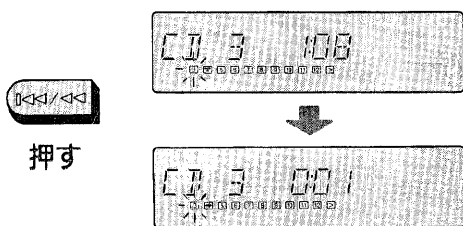
CDを聞く



曲の頭出しをするには スキッププレイ

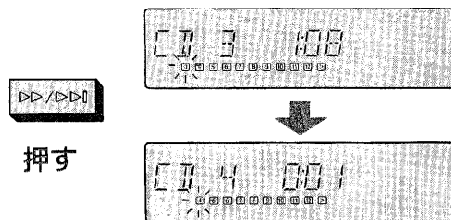
■演奏中の曲を最初から聞く

3曲目の演奏中に押すと、3曲目の頭出しをして演奏。



■演奏中の曲を飛ばして次の曲を聞く

3曲目の演奏中に押すと4曲目の頭出しをして演奏。



聞きたいところをさがすには サーチプレイ

■早戻しをするとき



■早送りをするとき



●前後数曲先(前)の曲にスキップするには

演奏中に キーまたは キーをくり返し押します。(停止中はスキッププレイはできません。)

☑プログラムプレイ中は、予約順にスキップします。

☑ランダムプレイ中は、 でスキップすることはできません。



プログラムプレイ中とランダムプレイ中のサーチプレイは、演奏中の曲の中だけできます。

(押し続けても、前の曲や、先の曲には進みません。)

コンパクトディスクについて

コンパクトディスクの演奏面の汚れ、ごみ、傷、そりなどが雑音や動作不良の原因になることがあります。次のことにご注意ください。

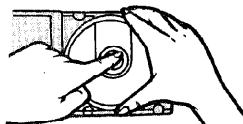
コンパクトディスクは



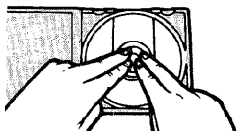
のマークが入ったものをご使用ください。

取扱上のご注意

●ケースからの出し入れは



センターホルダを押さえ、演奏面に触れないように持って出す。

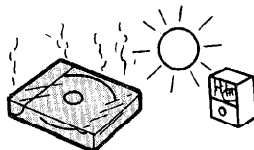


ラベル面を上にして、上から押さえて入れる。

- 演奏面（虹色に光っている面）に触れないように持つ。
- ラベル面に紙を貼ったり字を書いたりしない。
- ディスクは曲げない。

保管上のご注意

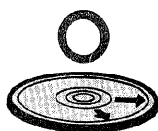
- 必ず専用ケースに入れて保管してください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所には置かないでください。



ディスクのお手入れ

演奏する前に、演奏面に付いたほこりやごみ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

ディスクは必ず矢印方向にふいてください。

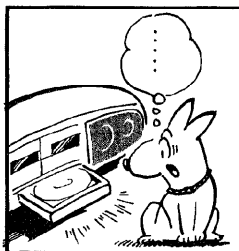


必ず内側から外側へ

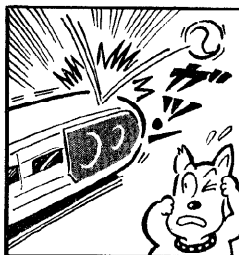


- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーや、スプレー静電防止剤は絶対に使用しないでください。

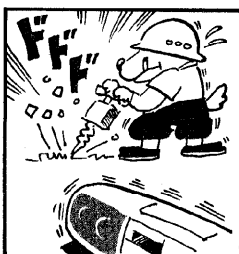
知っておいていただきたいこと



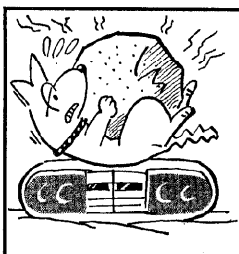
- ディスクトレイは必ず閉じておく。トレイの奥には精密レンズが内蔵されていますのでほこりなどにご注意。



- 操作中や、持ち運び時の強いショックは、音飛びや故障の原因に。保管、再輸送時はディスクは取り出しておいてください。

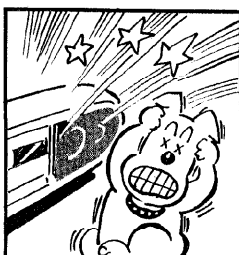


- 設置は振動を受けないしっかりした水平な場所に。



- 本機の上には重いものを置かない。

- 通風孔はふさがない。

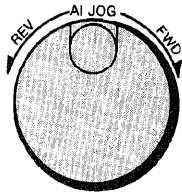


- 音量に注意。コンパクトディスクは、アナログレコードに比べ非常にノイズが少なく、ダイナミックレンジも広がっています。従来のようにノイズを聞きながら音量を調整しようとすると、思わぬ大音量になることがあります。

ラジオ/テレビを聞く

操 作	ディスプレイ
-----	--------

3



回して、放送局を選ぶ

- ↻ : 周波数、チャンネルが上がる。
- ↻ : 周波数、チャンネルが下がる。

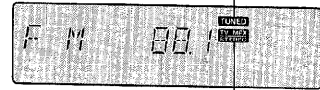
AM : 9kHzステップで (522-531-540-549…)

FM : 0.1MHzステップで

(76.0-76.1-76.2-76.3…)

TV : 1chステップで (1-2-3-4-5-6…)

放送局を受信すると表示
(電波が弱いと表示しないことがあります。)



ステレオ放送 (STEREO) や、音声多重放送 (TV/MPX) を受信すると表示

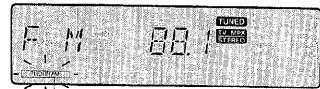
MPX : Multiplexの略称です。

4



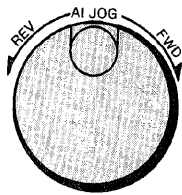
押す

FM放送の88.1MHzを受信中のとき



プログラムインジケータが約10秒間点滅

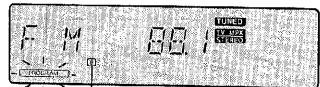
5



回して、メモリーするチャンネルを選び、

プログラムインジケータが点滅中に操作します。

- ↻ : □ - □へと移動
- ↻ : □ - □へと移動



プリセットチャンネルが移動する



押す



プログラムインジケータが消え、メモリー完了。

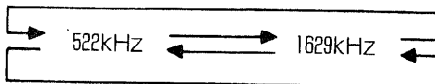
以降、同じ手順をくり返します。(同じバンドの放送局をメモリーするときは、手順3-5をくり返します。)

■選局時、周波数は正しく調整してください。
新聞の番組欄などで確認できます。

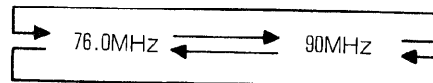
■ステーションメモリー機能
メモリーした放送局名を登録/表示することができます。
(☎56ページ)

選局中、周波数が各バンドの上限(下限)に達すると、受信周波数(チャンネル)は自動的に各バンド内の下限(上限)に切替わります。

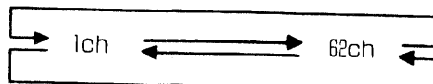
AM放送



FM放送

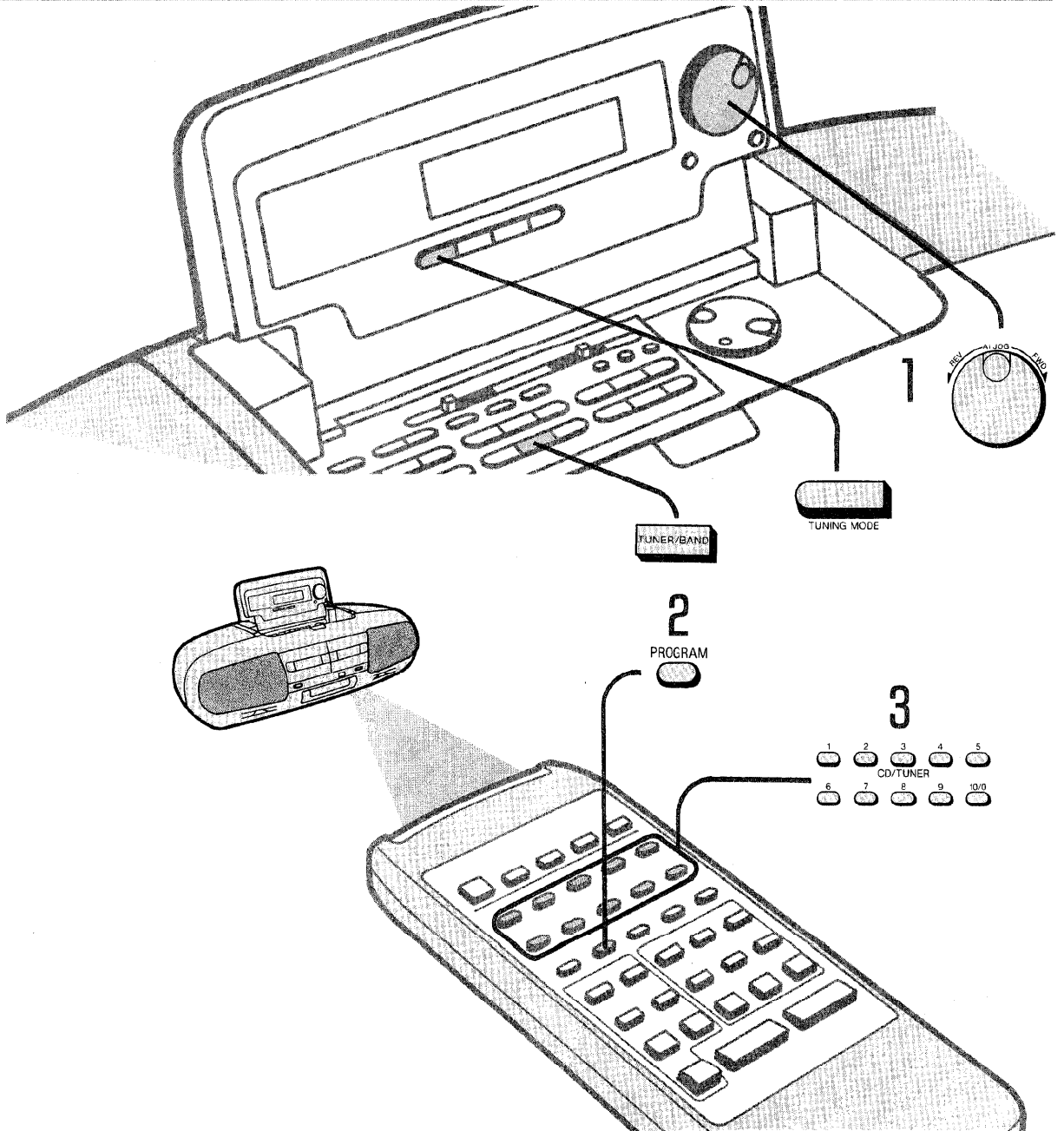


TV放送



ラジオ/テレビを聞く

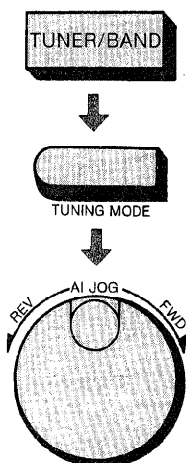
放送局を選局し、リモコンでメモリーするには



ラジオ/テレビを聞く

操 作	ディスプレイ
-----	--------

1



本体で放送局を選ぶ
(☞20ページ、手順1-3)

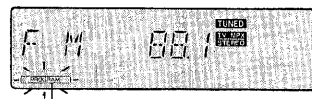
- ①バンドを選び、
- ②^{マニュアル}MANUALチューニングモードにし、
- ③放送局を選ぶ



2

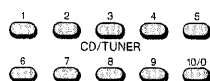


押す



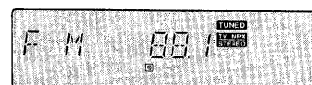
プログラムインジケータが約10秒間点滅

3



メモリーしたいチャンネルの数字ボタン (1-10/0) を押す

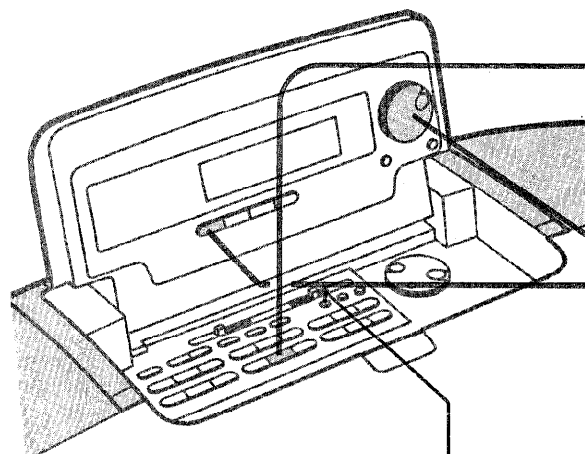
以後、同じ手順をくり返します。



ラジオ/テレビを聞く

メモリーした放送局を聞くには

■本体で



TV/FMモード/ビートブルーキー

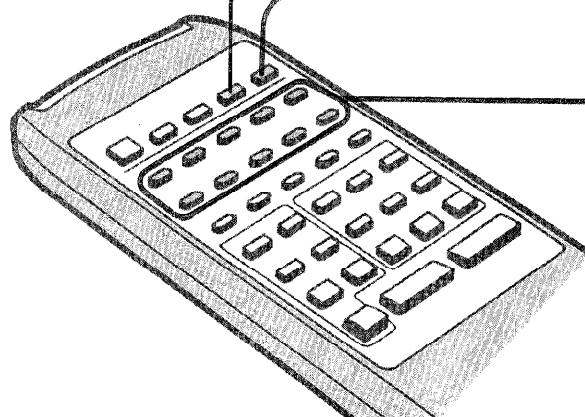
- 1  押してバンドを選ぶ
(電源も自動的に入ります。)


- 2  押して、プリセット
チューニング (PRESET)
を選ぶ (押すごとにMANUAL-PRESET
と切り替わります。)


- 3  回して、チャンネルを選ぶ
ダイヤルはゆっくり回します。

■リモコンで

TV/FMモード/ビートブルーキー



- 1  押してバンドを選ぶ
(電源も自動的に入ります。)

- 2  押して、チャンネルを選ぶ

※本機のTV受信回路はFM受信回路と兼用しております。
このため、地域によってはテレビの2または3チャンネルの音声受信時にFM放送が混信することもあります。

■TV/FMモード/ビートブルーキーについて

通常はステレオ位置 (MONO インジケータが消えている) にします。

電波が弱く、雑音が多いときには押して MONO 位置にすると雑音を少なくすることができますが、音声はモノラルになります。

(ディスプレイにインジケータが表示)

ステレオ放送を受信すると表示


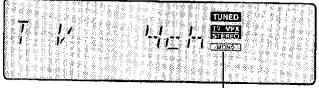
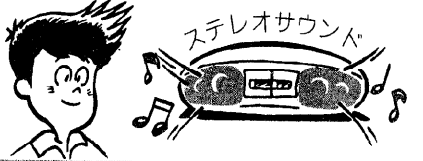

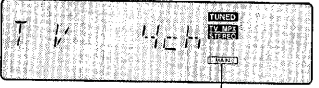






モノラル位置にすると表示

ラジオ/テレビを聞く

テレビの音声多重放送を聞くには

映画やニュース、野球放送、音楽番組など、音声多重放送（ステレオ放送や2重音声放送）を受信中は、**TV MPX STEREO** インジケータが表示します。このとき、TV/FMモード/ピートブルーキーを押すことで以下のように音声を選ぶことができます。

ステレオ放送を聞くときは （ MONO インジケータが消えている状態） <small>（通常はこの位置にセットします）</small>		
 押す	 雑音が多いときは、押してモノラル位置にします。	
2重音声放送の主音声 （2ヶ国語放送での日本語や、通常のテレビ音声）を聞くには		
 押す	 メイン MAINインジケータが表示	
2重音声放送の副音声 （2ヶ国語放送での外国語放送や、2重音声放送での副音声）を聞くには		
 押す	 サブ SUBインジケータが表示	

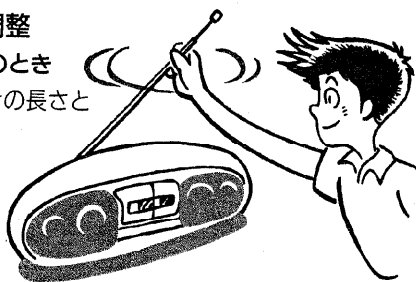
■ラストワン選局

本機では、電源を切ったり、他のソース（CDやテープなど）に切り替えても、再びチューナ/バンドキーを押すと、最後に受信していた放送局を聞くことができます。

■アンテナの調整

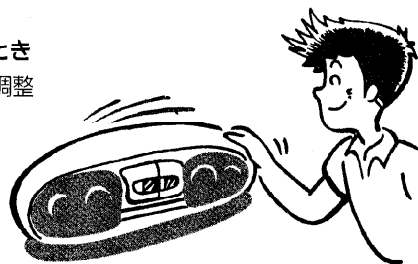
●FM/TV放送のとき

ホイップアンテナの長さとお向きを調整

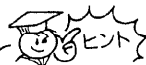


●AM放送のとき

本機の向きを調整



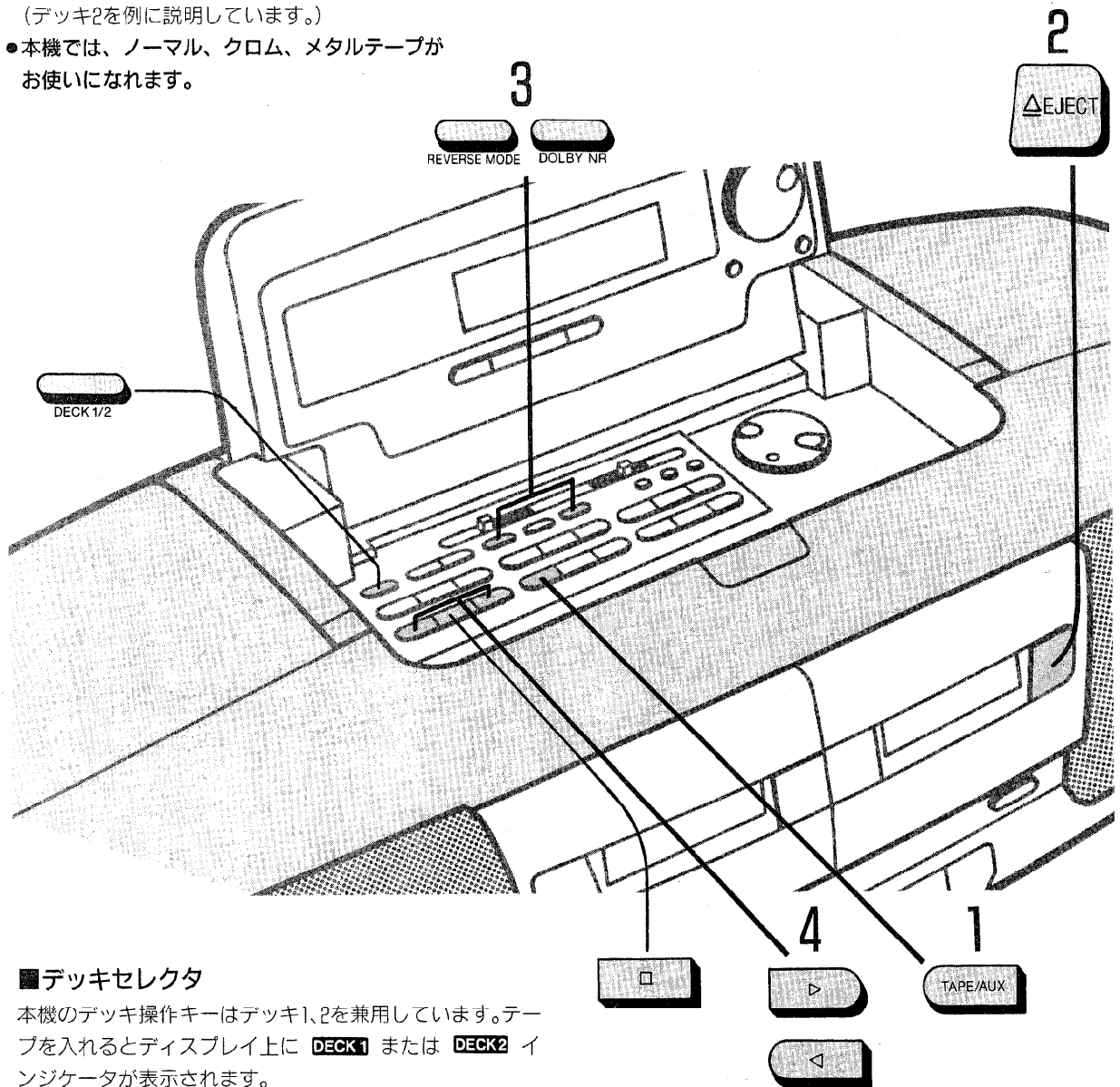
- テレビの近くでテレビ放送を本機で受信するとテレビの画面がちらつくことがあります。このときはテレビと本機をできるだけ離してお聞かせください。
- ステレオ放送を^{サブ}SUB位置で聞くと音が小さくなります。必ずステレオ状態でお聞かせください。
- 2重音声放送をステレオ位置で聞くと主音声と副音声が同時に聞こえます。^{メイン}MAINまたは^{サブ}SUB位置を選んでください。



乗り物や建物のなかでは電波が弱まるため、放送が聞こえにくくなる場合がありますので、できるだけ窓側でお聞かせください。

テープを聞く

- デッキ1、デッキ2のどちらでも使えます。
(デッキ2を例に説明しています。)
- 本機では、ノーマル、クロム、メタルテープが
お使いになれます。



■デッキセレクト

本機のデッキ操作キーはデッキ1、2を兼用しています。テープを入れるとディスプレイ上に **DECK1** または **DECK2** インジケータが表示されます。

DECK1 または **DECK2** インジケータの表示されている側のデッキが働きます。

切換えるときは、**DECK 1/2** キーを押すことに切り替わります。

■テープを両方のデッキに入れたとき

後からテープを入れたほうのインジケータが表示されます。

電源を入れたときはデッキ2のインジケータが表示されます。

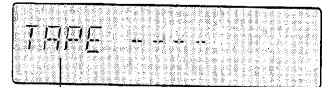
テープを聞く

操 作		ディスプレイ
-----	--	--------

1

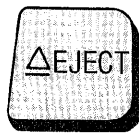


押し、「^{テープ}TAPE」を選ぶ
 押しごとに「^{テープ}TAPE」-「^{オックス}AUX」と切り替わります。

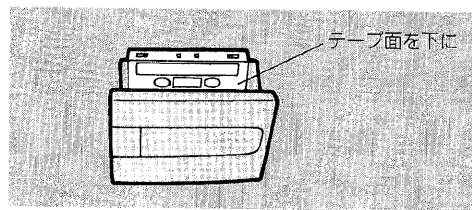


テープモードインジケータが表示

2



押し、テープを入れる



テープ面を下に



デッキ2インジケータが表示

テープカウンタ

3



押し、選ぶ

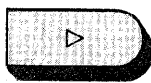
- ドルビーNRの入/切 (☞29ページ)
- リバースモードの切換え (☞29ページ)



リバースモードインジケータ

ドルビーNRオンのとき表示

4



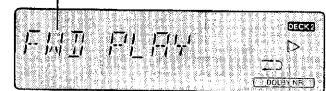
または



押す

- 再生開始
- ▷：おもて面からの再生
(*FW PLAY*表示の後、再生開始)
 - ◁：裏面からの再生
(*REV PLAY*表示の後、再生開始)

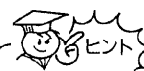
おもて面再生インジケータ



ランニングインジケータ

(テープの回転方向を表示)

■テープを止めるには
 キーを押します。



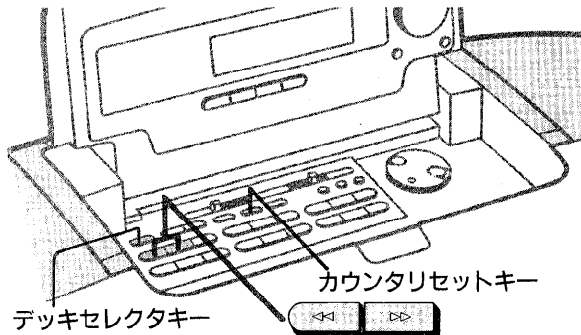
片方のデッキで再生中、デッキセレクトキーを切換えると、もう一方のデッキで早送り/巻戻し操作ができます。(操作の後は、再度デッキセレクトを押して動作できるデッキを元へ戻しておきます。)

テープを聞く

曲の頭出しをするには (TPS)

再生中、前後の曲に飛越して頭出しをし、再生をすることができます。

テープ プログラム センサ
(TPS: Tape Program Sensor)



今聞いている曲の頭出しをするには

■おもて面の再生中に



押す

今、聞いている曲の頭に戻って再生します。



次の曲の頭出しをするには

■おもて面再生中に



押す

次の曲の頭から再生が始まります。



- 裏面再生中は、上記とは逆のキーを押します。
- 次のような場合、TPSが正常に動作しないことがあります。故障ではありません。
 - ・曲間（曲と曲の間）が4秒未満のテープを使用したとき
 - ・マイクから録音したテープを使用したとき（無音部がない場合があります。）
 - ・曲中、特にレベルに低いところや、無音部がある場合（ピアノなど）
 - ・今聞いている曲の頭、または次の曲までが10秒以下の場合

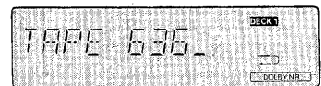
テープカウンタの使いかた

テープカウンタの数字をメモしておく、聞きたいところをさがすときに便利です。

カウンタを確認するには

デッキセレクトキーを押してデッキ1、デッキ2を選びます。（片方のみテープが入っている場合は切り替わりません。）

デッキ1



デッキ2



（デッキ1、2とも、切替える前の数字をおぼえています。）


カウンタをリセットするには

カウンタリセットキーを押します。

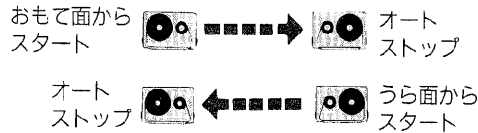


- 裏面(<)再生/録音中は、カウンタの動きも逆になります。（000-999-998-997...）
- 数字のリセットはデッキ1、デッキ2、それぞれで行ないます。

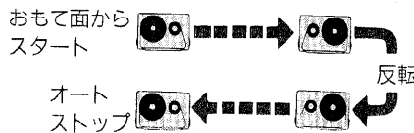
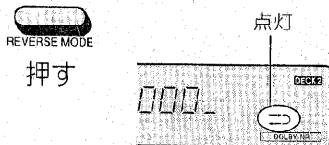
オートリバースについて

 キーは、押すごとにつきのように切換わります。

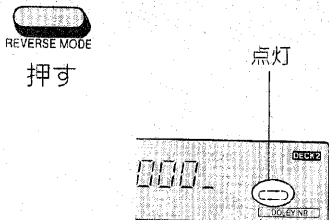
片面録音/再生モード ()



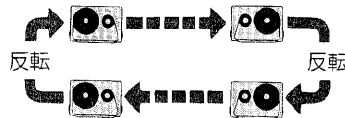
両面録音/再生モード ()



エンドレス再生モード・2巻両面連続エンドレス再生モード ()

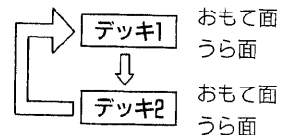


・デッキ1または2の片方にカセットを入れると



停止キーを押すまで連続して再生を繰り返します。


・デッキ1とデッキ2の両方にカセットを入れると



デッキ1とデッキ2でエンドレス再生をします。

ドルビーNRについて

「サー」というテープ特有のノイズを減らすシステムです。録音時に高い周波数部分のレベルをあげ、再生時に元に戻します。本機にはドルビーNRのBタイプを搭載しています。
Bタイプ：ノイズは約1/3になります。一般に「ドルビーNR」とだけ表示された市販のミュージックテープや機器をさします。再生、または録音時のみドルビーNRを使用してもノイズを減らすことはできません。必ず録音/再生ともに使用します。


ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBY及びダブルD記号  はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの登録商標です。

その他の機能




■オートテープセレクト

テープ（ノーマル/クローム/メタル）を装着すると、自動的に種類を識別してパイアスとイコライザをセットします。

■フルオートストップ

テープ走行中、終端になると自動的に停止状態になります。（再生時にリバースモード切換えスイッチが  のときは働きません。）



- 両面録音/再生時 () は、裏面から始めておもて面の終わりで自動停止することはできません。（裏面の終わりで停止します。）
- 録音時、() モードは、() モードと同じ働きになります。

録音をするまえに

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの場合は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音レベルについて

本機では録音レベルは自動的にセットされます。ダイナミックレンジの広いCDを録音するときは、より忠実度の高い録音レベルがセットできるATLS録音をおすすめします。

■ATLS録音

ATLS: オート テープ レベル セッティング Auto Tape Level Settingの略称です。従来の自動録音の手軽さでリアリティーの高い自動CD録音ができます。

本機のマイコンがCDを高速でサーチし、録音レベルをセットして録音を開始します。

ディスプレイの表示を切替えるには

ディスプレイボタンを押すごとに、各演奏モードの表示から、現在時刻表示、テープカウンタ表示、タイトル表示へと切替えることができます。

録音時に、テープカウンタの数字をメモするときや、録音したい番組に備えて、現在時刻を確認するときに便利です。

■CD演奏モードのとき



録音中に、音量や音質を変えても、録音レベルには影響はありません。

●テープカウンタ表示のとき、テープが入っていないときは下記の表示になります。



録音をするまえに

テープについて

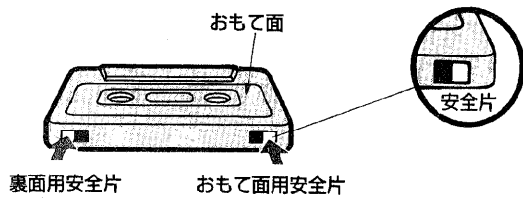
本機では、ノーマル、クロム、メタルテープがお使いになれます。

●C-120テープはできるだけ使わないで！

C-120テープは伸びたり、機械に巻きこまれたりしやすいので、長時間の録音以外は、できるだけ使用しないでください。

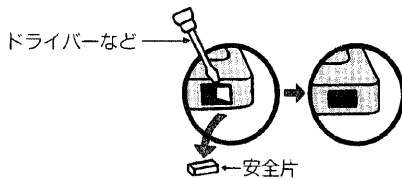
■誤って消さないために

カセットテープにはおもて面（A面）と裏面（B面）に安全片がついています。



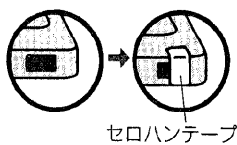
■誤消去を防ぐには

ドライバーなどで安全片を折取る



■再び録音するには

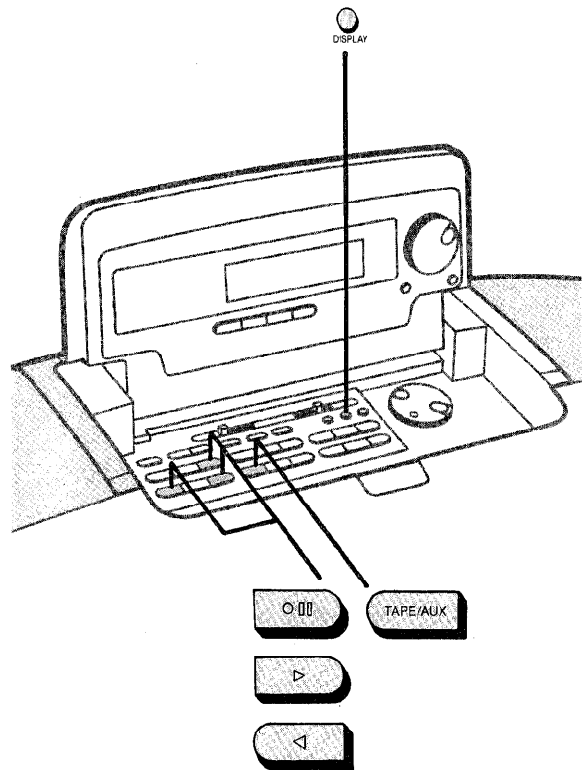
セロハンテープを貼って穴をふさぐ



録音を消すには

新しく録音すると前の音は自動的に消去されます。前の録音のみ消したいときは、以下の手順を行なってください。（このとき、本機にはマイクや外部機器を接続しないでください。）

- 1 TAPE/AUX を押し、^{オース}「AUX」を選ぶ
- 2 を押し、 または を押し
(おもて面) (うら面)








メタルテープ/クロムテープには、種類検知用の検出穴があります。これをテープでふさがないようにご注意ください。



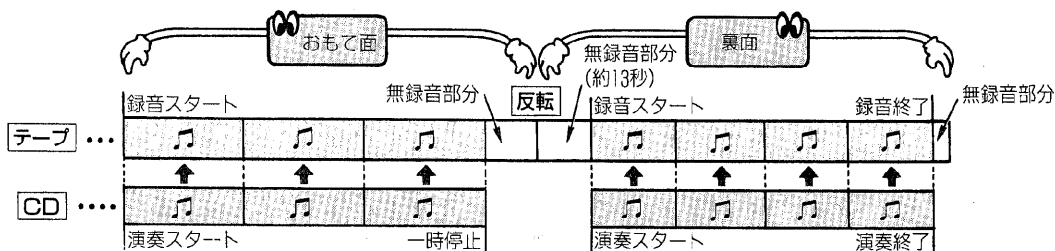




CDを録音する

本機のCD編集録音機能を使うと、テープの録音面が切換わるときの音切れを防ぐことができます。

編集録音の種類は	指定するモード
CDの曲順通りに編集録音	オートエディット録音 (P.34ページ) 
	AIオートエディット録音 (P.36ページ) 
曲順を入れ換えてでも全曲を編集録音	フィットエディット録音 (P.38ページ) 
好みの曲を選んで編集録音 引き続き別のCDを編集録音 1枚目のCDを編集録音した後、テープの余白に別のCDを編集録音できます。	マニュアルエディット録音 (P.40ページ)  リンクエディット録音 (P.42ページ) 




動作のなかれ



特	長
<p>指定したテープの長さに合わせて、マイコンがテープ両面に録音できる曲を曲順通りに振り分けます。録音に使うテープの長さが決まっているときに使用します。</p> <p>(テープの長さによっては全曲録音できないこともあります。)</p>	
<p>CDの全曲を、曲順通りに録音するために必要なテープの長さを計算してあらかじめ表示します。その後、曲順通りに録音します。</p>  <p>この場合、56分以上のテープを使えばよいことがわかります。</p>	
<p>テープの長さによっては、CDの曲順通りでは全曲録音できなくても、曲順を入れかえてみると全曲録音できることがあります。</p> <p>この計算と曲の振り分けをマイコンが行ないます。</p>	
<p>ディスプレイに表示される残り録音時間を確認しながら、録音したい曲を、好みの順序で指定できます。</p>	
<p>CDシングル数枚を1つのテープにまとめたり、編集録音終了後、テープに余裕があるときに別のCDを録音できます。</p>	

■CD編集録音機能を使わずに

CDを録音するには

- ①  を押し、ディスクを入れ、デッキ2にテープを入れます。
- ②  を押し、CDの  を押し。

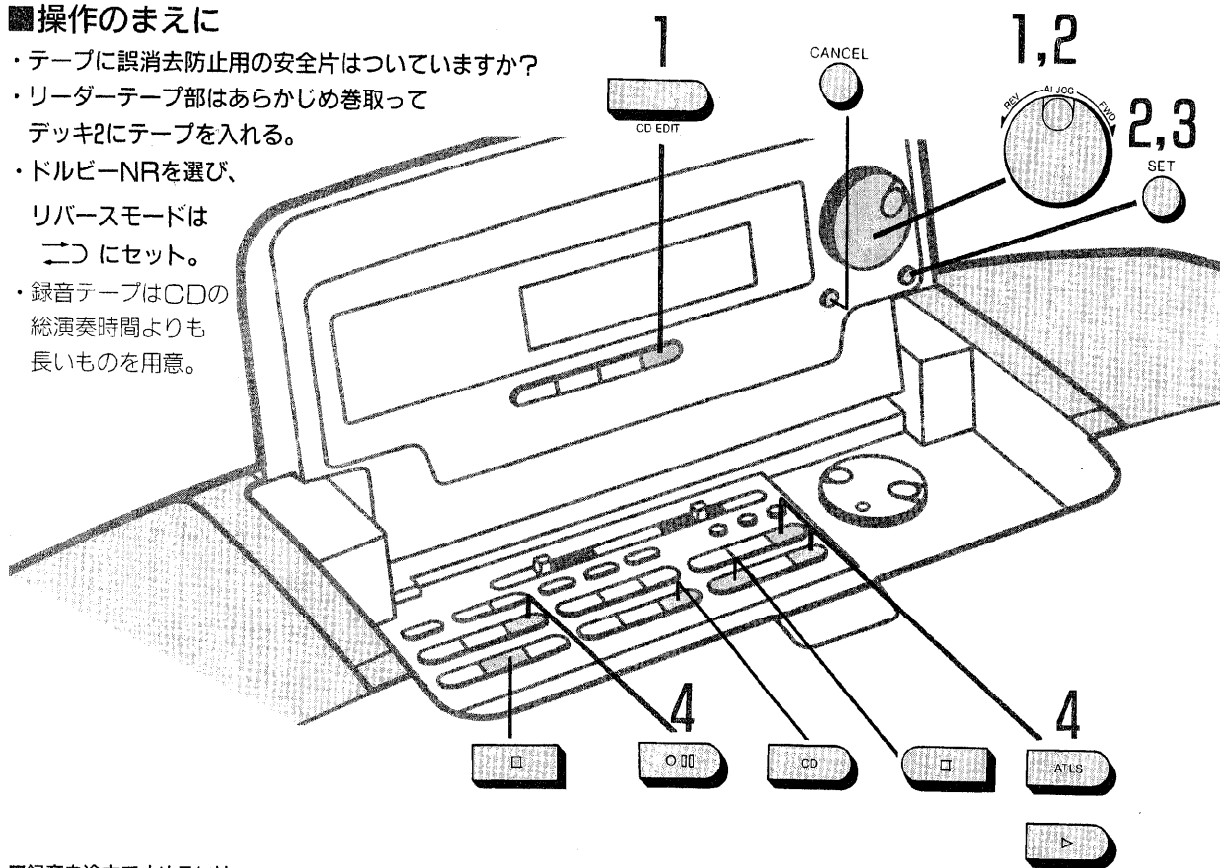
CDを録音する

CDの曲順通りに編集録音

オートエディット録音

■操作のまえに

- ・テープに誤消去防止用の安全片はついていませんか?
- ・リーダーテープ部はあらかじめ巻取ってデッキ2にテープを入れる。
- ・ドルビーNRを選び、リバースモードは二つにセット。
- ・録音テープはCDの総演奏時間よりも長いものを用意。



■録音を途中で止めるには

CDの

: CDは止まり、テープは録音待機状態に。(CDシンクロ録音機能)

デッキの

: テープはストップ。CDは演奏を続ける。

■手順1～3で操作を間違えたときは

キーを押すと1つ前の手順に戻ることができます。

■オートエディット録音モードを取消するには

停止中に、 を押します。(CLEAR表示が出ます。)

■手順3の後、テープ両面に振分けられた曲を確認するには

を押すことに、以下の確認ができます。

- ①テープA面に録音できる曲数とその残り時間。
- ②テープB面に録音できる曲数とその残り時間。
- ③テープA/B面の残り時間。

■演奏順序を確認するには

停止時に または キーを押すことに曲番と順序を確認できます。

■編集できるCDの曲数は


36曲までのCDが使用できます。
(37曲以上のCDを使うと、“ERROR”(エラー)表示の後、自動的にマニュアルエディット録音モードになります。マニュアルエディット録音モードで、36曲以内の予約をして録音します。)

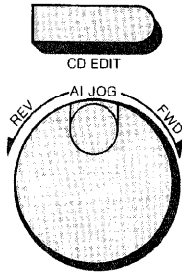


- エディット録音中は、CD部は キーしか受け付けません。
- エディット録音機能を使ってCDの演奏のみをすることはできません。(ERROR表示が出ます。)

CDを録音する

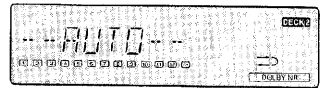
操 作	ディスプレイ
-----	--------

1  を押し、ディスクを入れ、

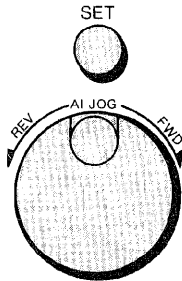


押し、

ダイヤルを回して「^{オート}AUTO」を選ぶ
「^{オート}AUTO」 - 「MANUAL」 - 「FIT」 - 「AI AUTO」の順で表示されます。



2



押し、

ダイヤルを回して使うテープの長さを指定する
1分単位での指定ができます。



オートエディットモード表示 テープの長さ(分)

3



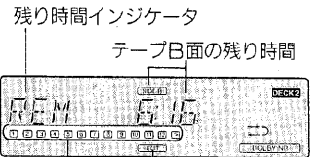
押す

テープ両面に曲を振分け、その結果を表示。
●各面に振分けられた内容を見たいときは：☞34ページ。

- B面に入り切らない曲があるときは、右の表示のかわりに次の表示が出ます。このまま録音を始めることもできますが、9曲目は途中で録音が途切れます。☞9曲目が最後まで入り切らず、B面に2分13秒不足している。

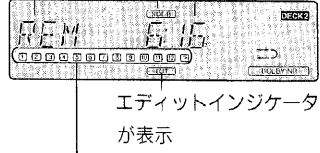


オーバー時間インジケータ



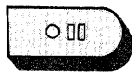
残り時間インジケータ テープB面の残り時間

両面に録音できる曲



エディットインジケータが表示

4



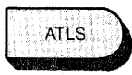
押す

REC PAUSE 表示の後、録音待機状態



押す

レベルサーチの後、録音開始



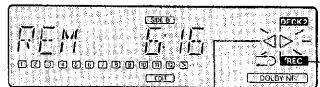
押す

録音開始



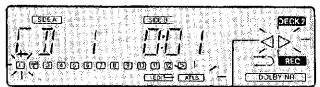
OVER表示が出たときは：

- CDの曲順通りに全曲録音したいときは、AIオートエディット録音をします。(☞38ページ)
- 曲順を入れ替わってもよいから全曲録音したいときは、フィットエディット録音をお試しください。(☞38ページ)



点滅 録音表示

●ATLS録音のときは
レベルサーチ中



点滅

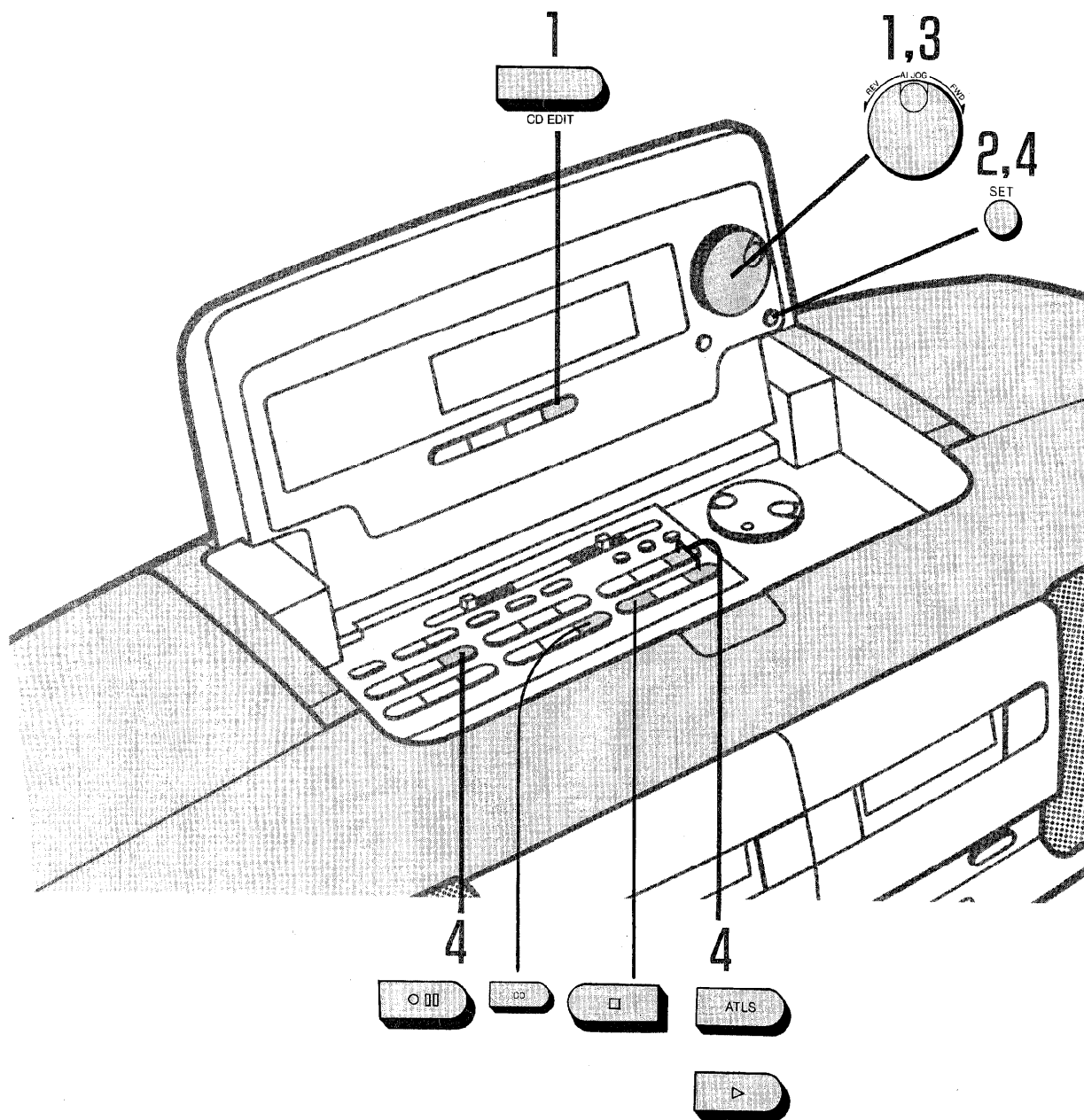



表示

CDを録音する

CDの曲順通りに全曲を編集録音


AIオートエディット録音

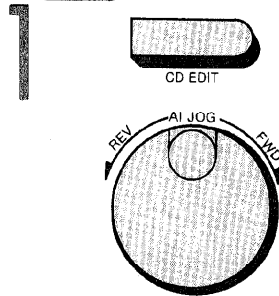


■AIオートエディット録音を取消するには
停止中に  を押します。(CLEAR表示が出ます。)

CDを録音する

操 作	ディスプレイ
-----	--------

1  を押し、ディスクを入れてから、



押し、

ダイヤルを回して「AI ^{オート}AUTO」を選ぶ

「AUTO」 - 「MANUAL」 - 「FIT」 - 「AI ^{オート}AUTO」の順で表示されます。



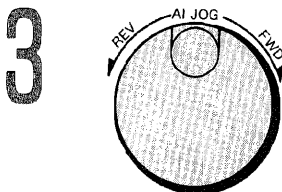
押し

全曲録音に最低限必要なテープ長さを表示




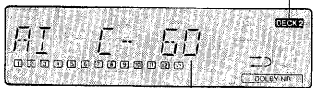
この場合、C-59テープ以上の長さが必要

AIオートエディットモード表示



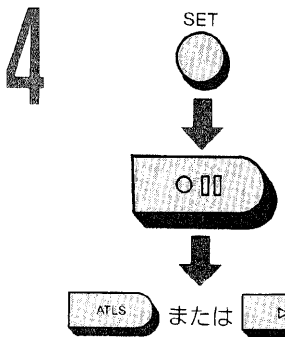
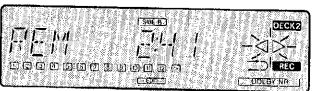
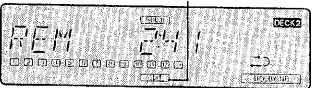
回して、録音するテープ長さを指定し、デッキ2にテープを入れる

- リーダーテープ部は巻取ってから
- テープに誤消去防止用の安全片はついていませんか？
- リバースモードは  にセット
- ドルビーNRを選ぶ。



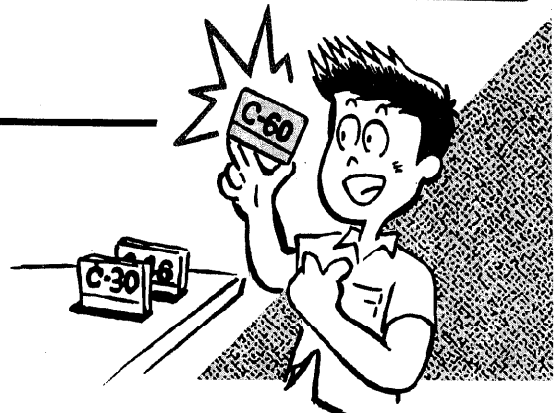
59分以上必要なので、60分テープの時間をセット

エディットインジケータが表示



押し

両面に曲を振分け、押しして録音開始。




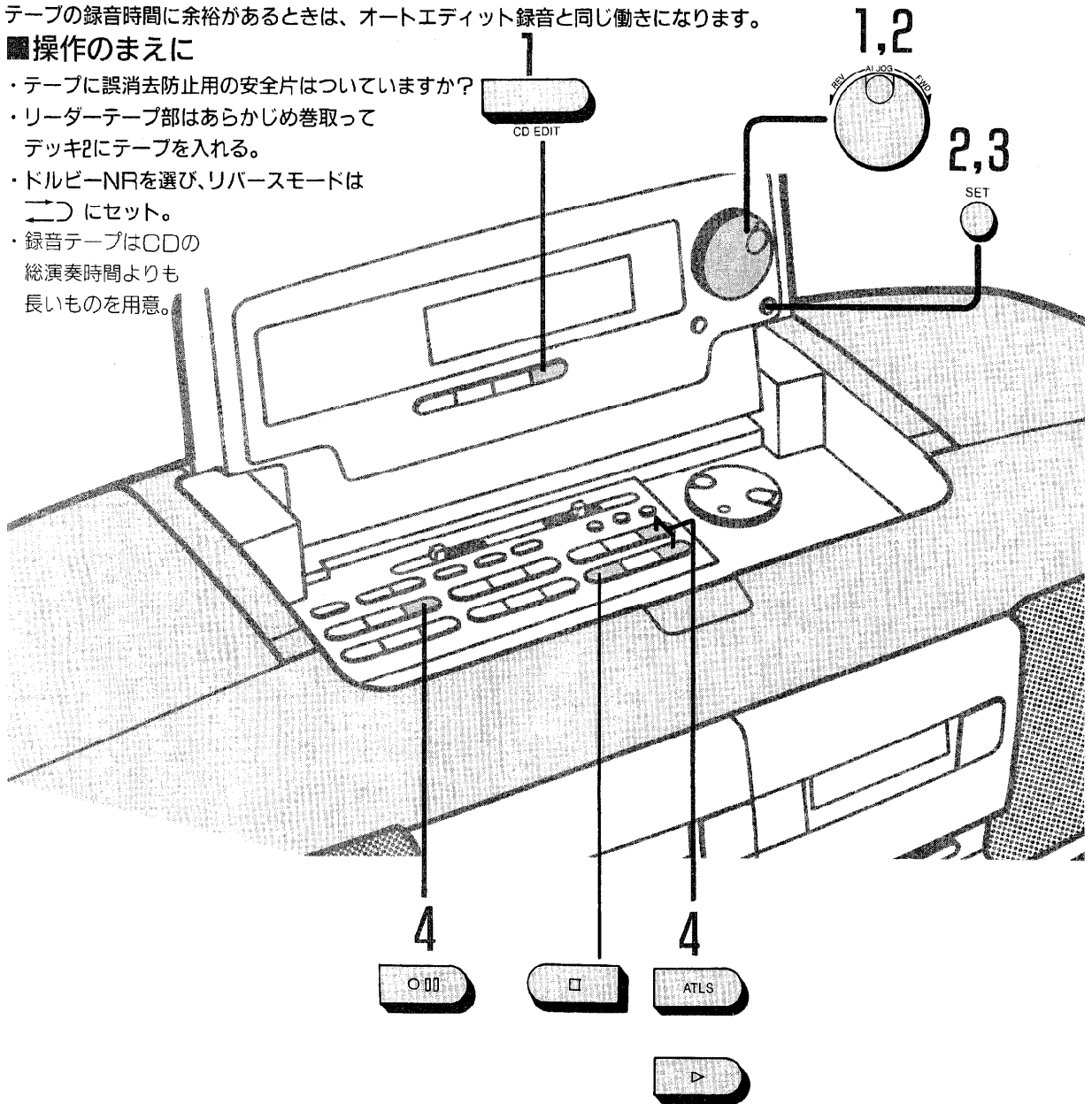
CDを録音する

順序を入れ替えてでも全曲を編集録音 フィットエディット録音

テープの録音時間に余裕があるときは、オートエディット録音と同じ働きになります。

■操作のまえに


- ・テープに誤消去防止用の安全片はついていますか？
- ・リーダーテープ部はあらかじめ巻取ってデッキ2にテープを入れる。
- ・ドルビーNRを選び、リバースモードは  にセット。
- ・録音テープはCDの総演奏時間よりも長いものを用意。



■OVER時間が1~15秒程度のときは


テープに録音できる時間は、テープに表示されている時間よりも少し長めになっているので、そのまま録音できることがあります。

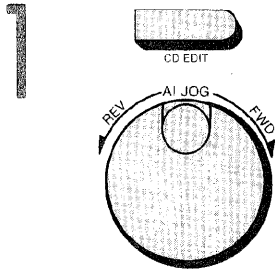
■フィットエディット録音を取消すには

停止中に  を押します。(CLEAR表示がでます。)

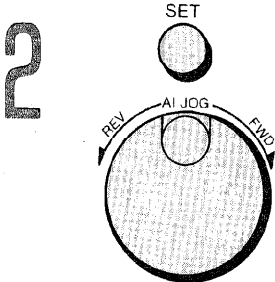
CDを録音する

操 作	ディスプレイ
-----	--------

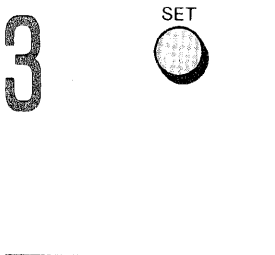
■  を押し、ディスクを入れ、



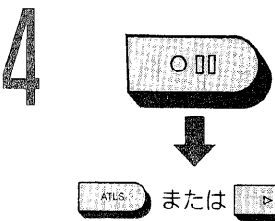
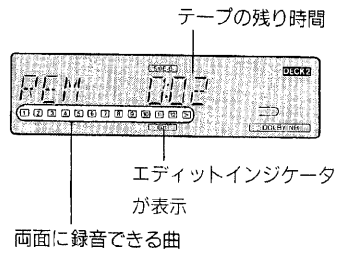
押し、
ダイヤルを回して「FIT」を
選ぶ
「AUTO」-「MANUAL」-「FIT」-
「AI AUTO」の順で表示されます。



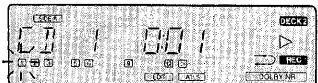
押し、
ダイヤルを回して使うテープの長さを
指定する
1分単位での指定ができます。



押す
テープ両面に曲を振り分け、その結果を表示。
●テープ各面に振り分けられた内容を見たいときは (☞34ページ)
●曲順を入れ換えても全曲録音できないときは
OVER時間表示が出ます。(☞下記)



押す
録音開始。



■フィットエディット録音を使ってもOVER時間表示が出るときは、より長いテープをお使いください。




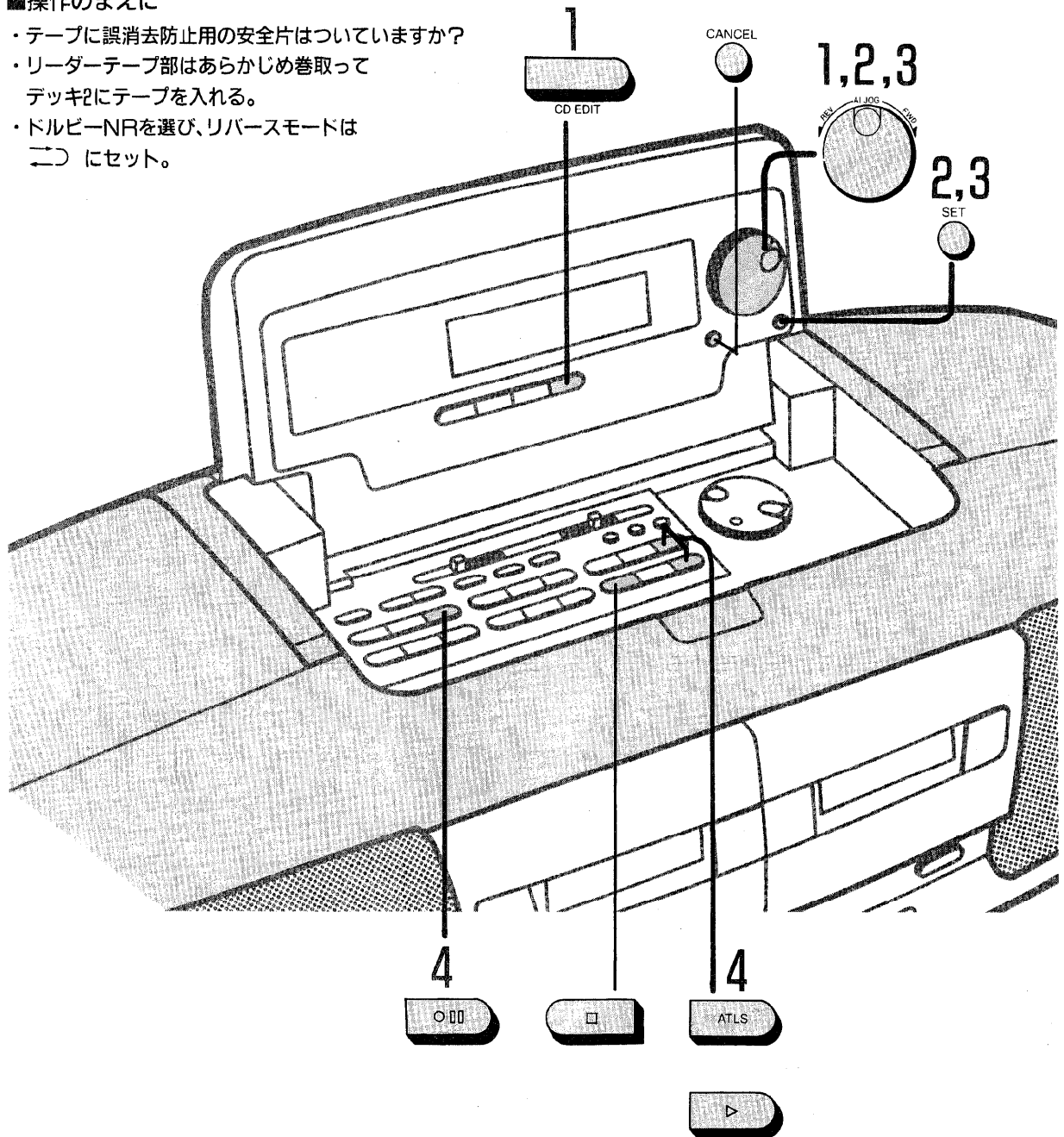
CDを録音する

好みの曲を選んで編集録音


マニュアルエディット録音

■操作のまえに


- ・テープに誤消去防止用の安全片はついていますか？
- ・リーダーテープ部はあらかじめ巻取ってデッキ2にテープを入れる。
- ・ドルビーNRを選び、リバースモードは  にセット。



■予約した曲を取消すには


 キーを押す。
押すごとに最後の曲から順次取消されます。

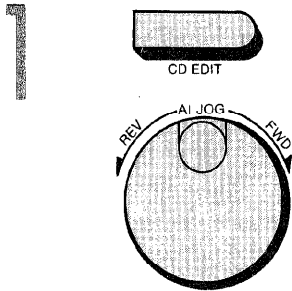
■マニュアルエディット録音を取消すには

停止中に  を押します。(CLEAR表示が出ます。)

CDを録音する

操作	ディスプレイ
----	--------

1  を押し、ディスクを入れ、



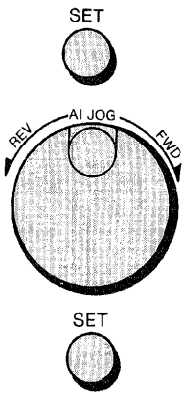
押し、

ダイヤルを回して「^{マニュアル}MANUAL」を選ぶ

「AUTO」 - 「^{マニュアル}MANUAL」 - 「FIT」 - 「AI AUTO」の順で表示されます。



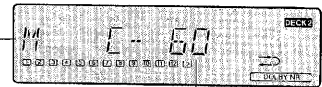
2



押し、

ダイヤルを回して使うテープの長さを指定し、1分単位での指定ができます。

押し



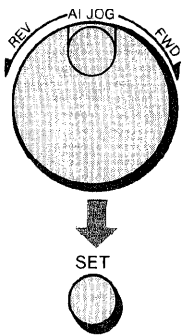
マニュアルエディットモード表示
テープの長さ(分)

テープ片面分の残り録音時間表示になる







エディットインジケータが表示

3



曲を順番に指定する

ダイヤルを回し、 を押す。

- 最高36曲まで録音できます。
- リモコンの数字キー（ ~ 、）を使って予約することもできます。

テープA面分の残り録音時間

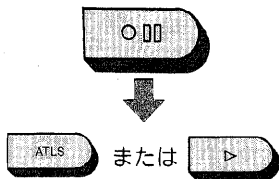
テープA面の残り時間がなくなったときは、自動的にB面に切り替わります。



1.5秒後にテープ片面の残り録音時間表示になります。



4



押し

録音開始



録音表示

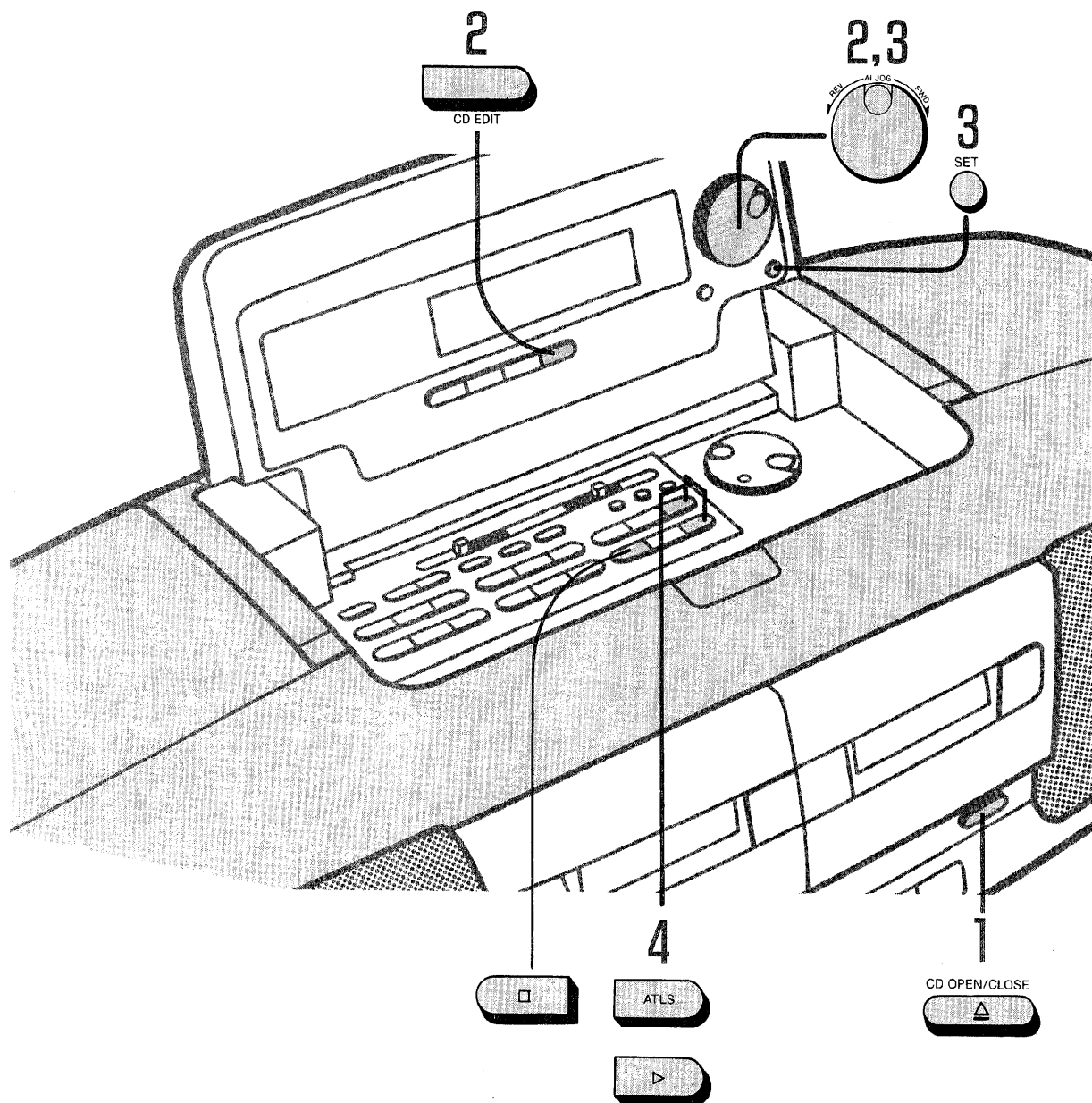
■テープの時間があまったときは
引き続き、別のCDをエディット録音できます。
☞リンクエディット録音（※42ページ）

CDを録音する


引き続き別のCDを編集録音

リンクエディット録音

CDシングルを1本のテープにまとめて録音したり、オートエディット録音やマニュアルエディット録音の後、テープの残り時間に余裕があるときは、別のCDを続けて編集録音することができます。




■リンクエディット録音を取消すには

デッキが録音待機状態のときに、 を押します。

CDを録音する

操 作	ディスプレイ
-----	--------

■ 1枚目のCD編集録音終了後、

1  **押して、ディスクを入れ換える**
もう一度押すとトレイが閉まります。

前の編集録音終了後、
デッキ2は録音待機状態
新しいCDの曲数と演奏時間




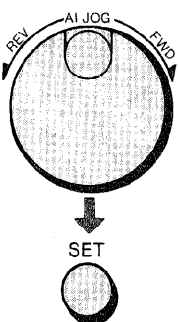

2  **押し、**
 **ダイヤルを回して編集モードを選ぶ**
「オートAUTO」 - 「マニュアルMANUAL」以外はできません。
AUTO: CDの曲順通りに。
MANUAL: 好みの曲を選んで。



リンクエディットモード表示





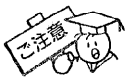
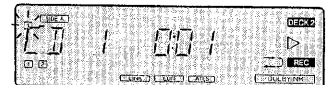
リンクエディットインジケータが表示


3  **押す**
■ **オートエディット録音の場合**
曲を振分け、結果を表示 (P.34ページ)
■ **マニュアルエディット録音の場合**
曲と順序を指定する。(P.40ページ)
 



エディットインジケータが表示

4  または  **押す**
録音開始



● 前のCD編集録音が終わったときはデッキの  を押してデッキの録音待機状態を解除しないで下さい。
(デッキの録音待機状態を解除すると、リンクエディットはできません。)

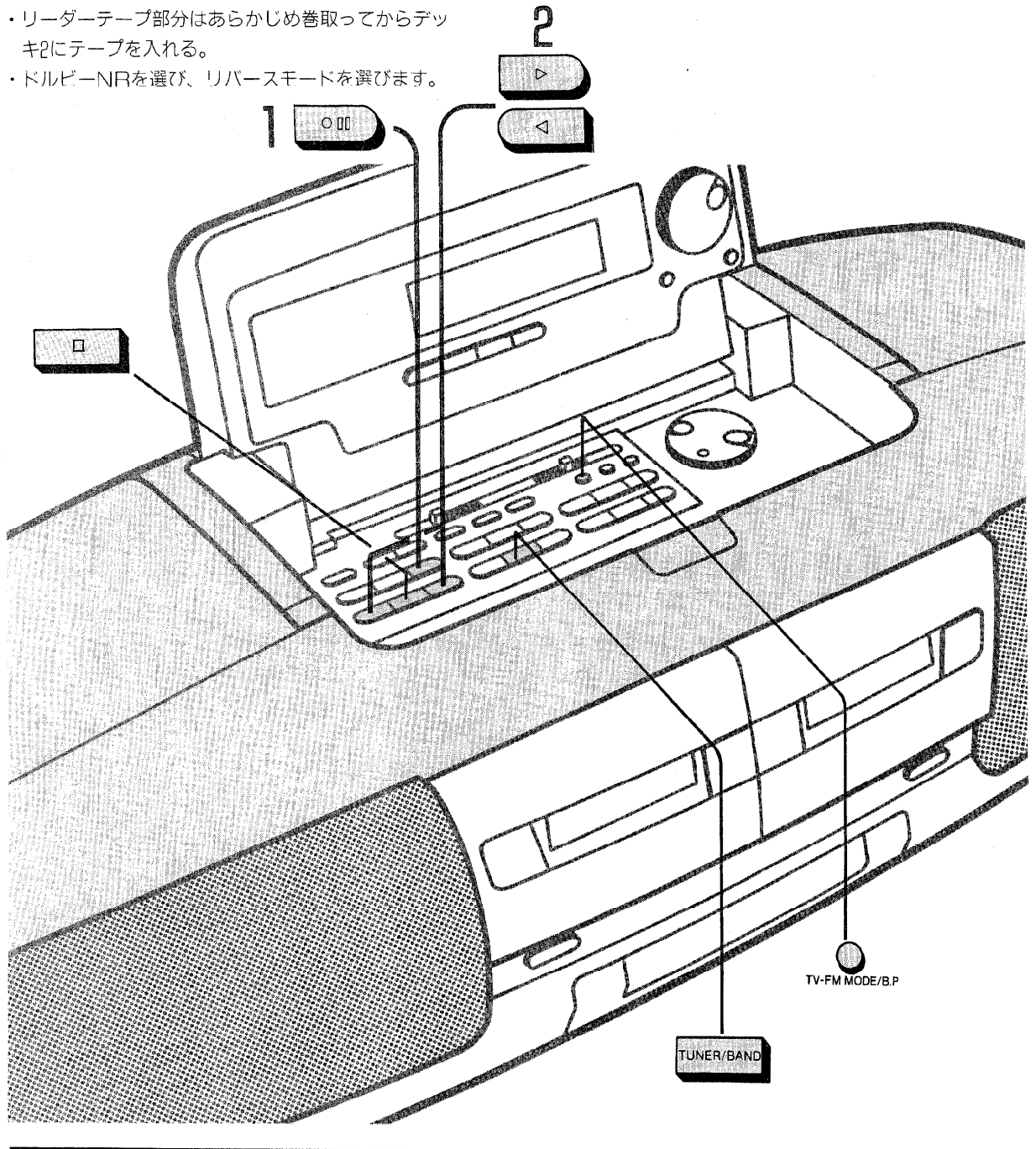
● リンクエディット録音の途中でCDを止めると、リンクエディット録音は解除されます。



ラジオ/テレビを録音する

■操作のまえに

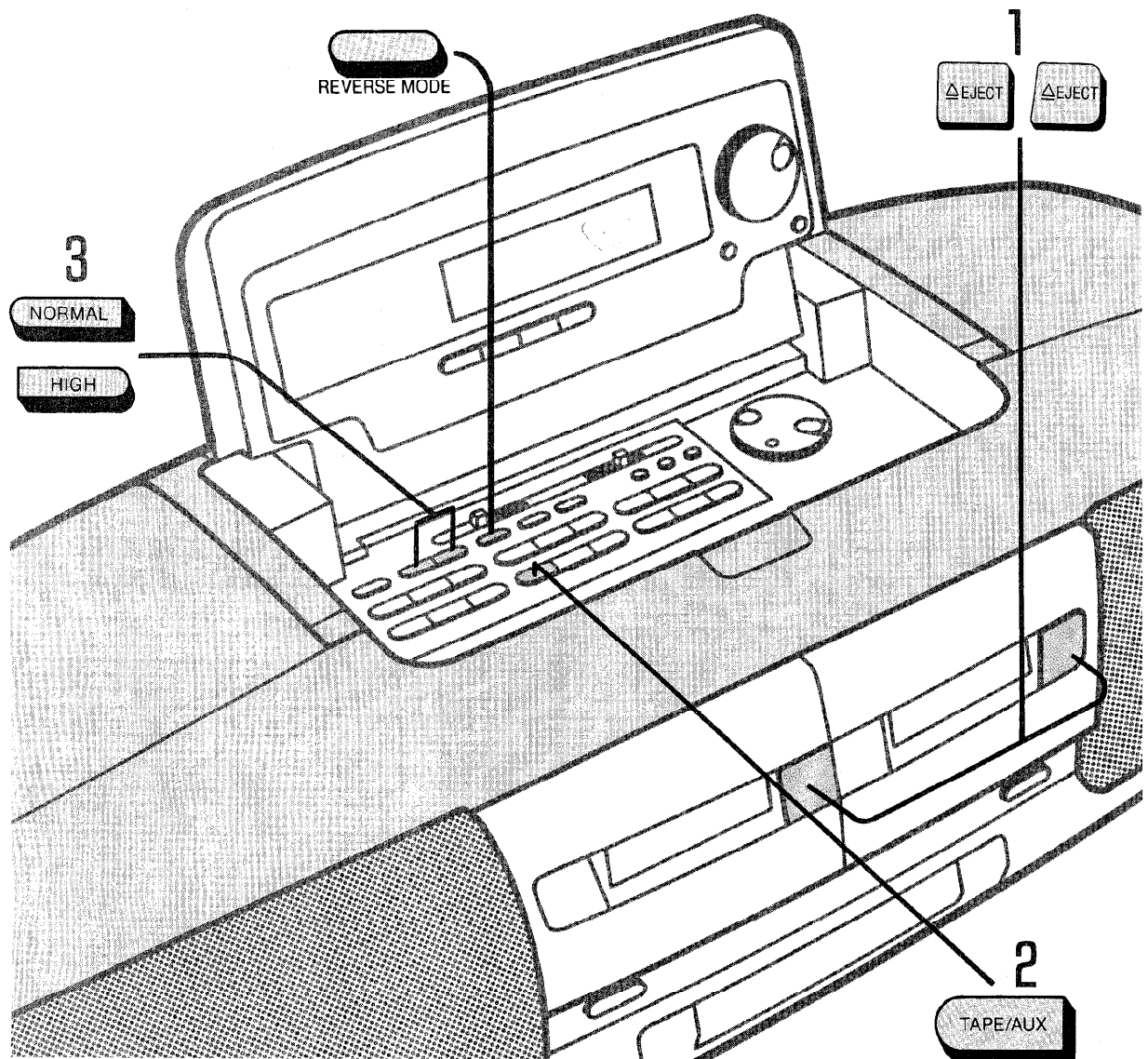
- ・テープに誤消去防止用の安全片はついていますか？
- ・リーダーテープ部分はあらかじめ巻取ってからデッキ2にテープを入れる。
- ・ドルビーNRを選び、リバースモードを選びます。



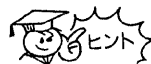


テープからテープへ録音する

デッキ1からデッキ2に、おもて面からワンタッチで編集録音ができます。



- テープ編集中は編集速度を切換えることはできません。
- 編集時、本機とテレビを近づけると、テレビから出る電波の影響で雑音が入ることがあります。約1.5メートル以上離してご使用ください。



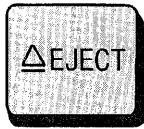
- 途中で消費するおそれのある乾電池より、家庭用電源をご使用ください。
- デッキ1、デッキ2で、それぞれ異なった種類のテープをお使いになれます。デッキのオートテープセレクトがテープの種類を検知し、バイアスとイコライザをセットします。

テープからテープへ録音する

操 作	ディスプレイ
-----	--------

1

デッキ1



押して、テープを入れる

デッキ1：再生用テープ

デッキ2：録音用テープ

(リーダーテープ部分はあらかじめ巻取っておきます。)

デッキ2



2



押して、「^{テープ}TAPE」を選ぶ

押すごとに「^{テープ}TAPE」-「^{オックス}AUX」と切り替わります。

後から入れたほうのデッキインジケータを表示



リバースモードインジケータ



押して、リバースモードを選ぶ

3



押して編集速度を選ぶ

編集録音が始まる。

^{ノーマル}
NORMAL：音を聞きながら編集録音するとき（通常の色度）

^{ハイ}
HIGH：早く編集録音したいとき（通常の色度約1.7倍の色度）

デッキ2側のテープカウンタを表示



- テープ編集時はドルビーNR機能は働きません。デッキ1のテープに録音されている音そのまま録音されます。
- ドルビーNR録音されたテープを編集中のモニタ音は、ドルビーNRキーをオン状態にすると正しく再生されます。

■編集録音を止めるときは

デッキの キーを押します。

(テープがどちらかの終端で停止すると、同時にもう一方も停止します。：シンクロストップ機能)

デッキ1が先に停止：デッキ2は録音待機状態に。

デッキ2が先に停止：デッキ1も停止状態に。

■引続き別のテープを編集録音するときは

デッキ2側のテープにまだ余裕があるときは、デッキ1のテープを入れ、再度 または キーを押します。

たとえば：

C-60テープ数本にそれぞれ15分ずつ録音された内容をC-90テープ1本にまとめたいとき便利です。

(テープを止めるときは を押します。)

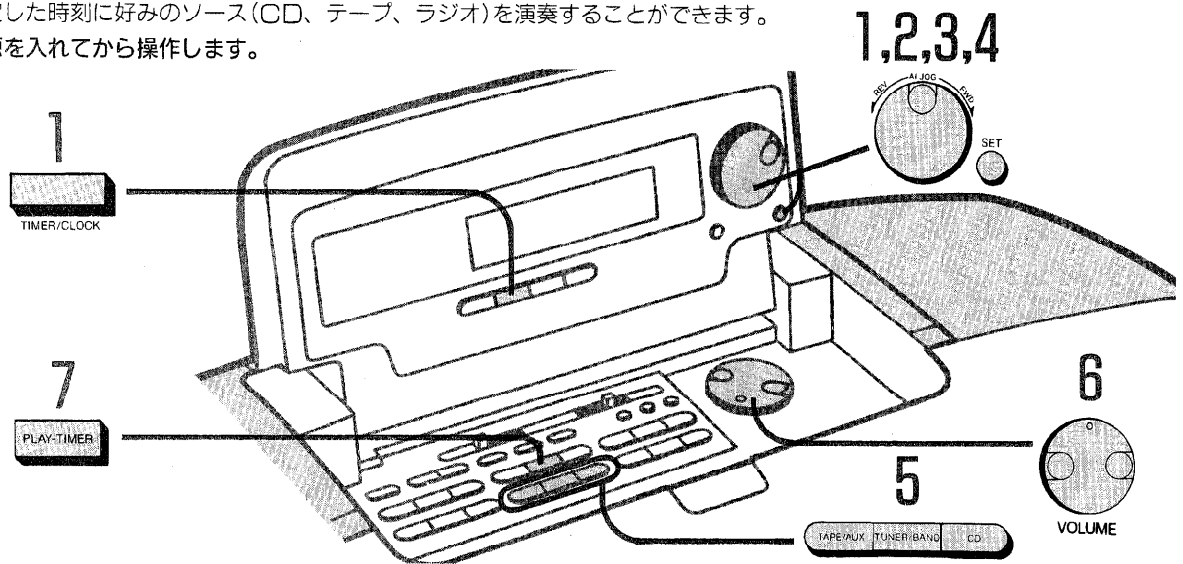



タイマーを使う

おめざめタイマーを使う

タイマー演奏

指定した時刻に好みのソース(CD、テープ、ラジオ)を演奏することができます。
電源を入れてから操作します。



操 作		ディスプレイ
■ 予約時刻をセットする		
1	 <p>押し、 ダイヤルを回して「P-TIMER」 を選ぶ 約10秒以上、次の操作までに間隔があくと元の表示に戻ります。</p>	 <p>↓</p> 
2	<p>演奏開始 (ON)時刻のセット</p> <p>押し、 ダイヤルを回して「時間」を合わせる 同じ手順で「分」を合わせる</p>	<p>点滅</p>  <p>↓</p>  <p>点滅</p>
3	<p>演奏終了 (OFF)時刻のセット</p> <p>押し、 ダイヤルを回して「時間」を合わせる 同じ手順で「分」を合わせる</p>	 <p>↓</p>  <p>点滅</p>
4	<p>押し 元の表示に戻ります。</p>	

タイマーを使う

操 作		ディスプレイ
-----	--	--------

5



演奏したいサウンドソースの準備



CD：ノーマル、またはプログラムプレイで演奏状態に。

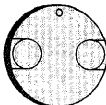
ラジオ：聞きたい放送局を選局する。

テープ：聞きたい曲の頭出しをする。



- テープのタイマー再生はデッキ1、デッキ2のどちらでもできます。
(両方にテープが入っている場合は、デッキ2が優先されます。)

6



演奏時の音量をセットする

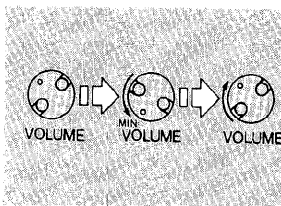
VOLUME

7



押す

予約完了—(もう一度押すと解除されます。)



音量調整つまみが自動的に回転し、(セット位置—0—セット位置)セット位置を覚えて電源が切れます。

(このとき、電源スイッチを押したり、音量調整つまみを回したりしないでください。音量のセット位置の記憶が正しくできなくなります。)



タイマー表示

- 希望の時刻になると…



点滅

■引き続き動作させたいときは

おやすみタイマーをお使いください。(P52ページ)

■毎日おめざめタイマーを使うときは

- 一度セットしたおめざめ予約時間は時間設定を変えるまで記憶しています。
- 次からはサウンドソースと音量を確認して キーを押すだけでセットできます。



●CDの演奏曲を予約した後は、CDの出し入れをしないでください。
(プログラムプレイが解除され、1曲目からの演奏になります。)

●タイマーセット状態(タイマーインジケータが表示中)は、電源スイッチは働きません。

または キーを押して解除した後に行ってください。

●タイマー動作を途中で止めるときは、電源を切り、

または キーを押してタイマーモードを解除してください。

■セットした時刻を確認するには

を押す。

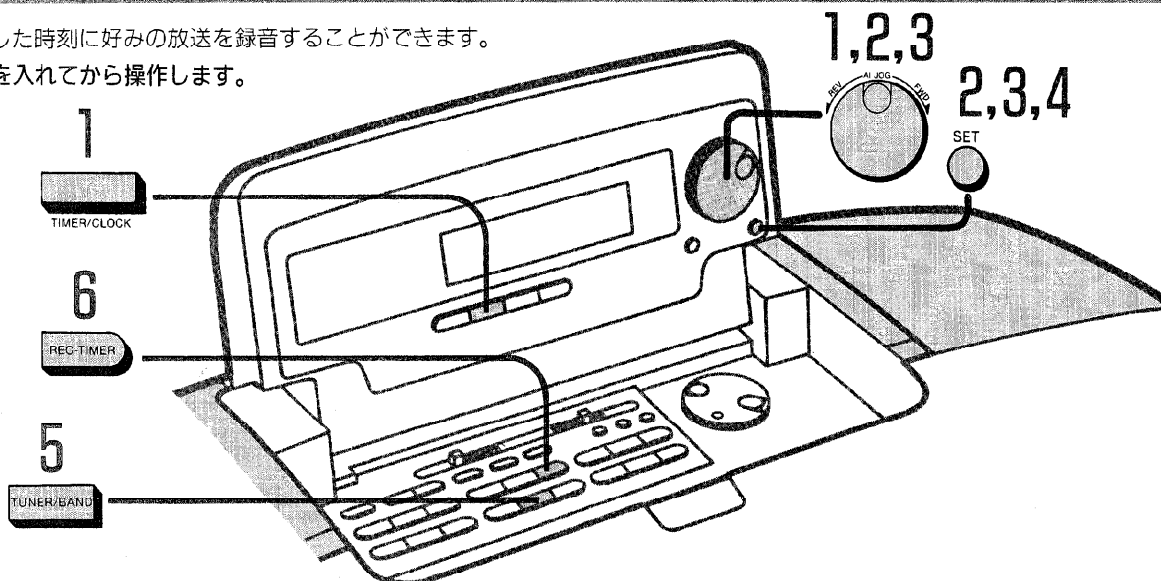
タイマーセット状態(タイマー または タイマー レコード
点灯中)では、もう一度 キーを押すと予約した演奏/録音モード(CD、テープ、ラジオなど)の確認ができます。

タイマーを使う

留守録タイマーを使う

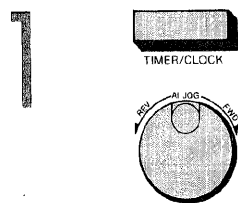
タイマー録音

指定した時刻に好みの放送を録音することができます。
電源を入れてから操作します。

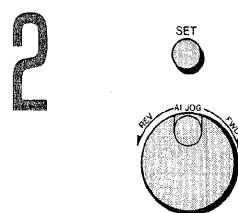
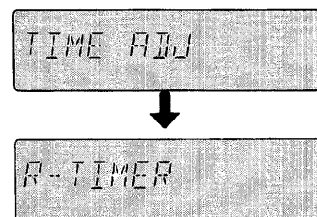


操 作	ディスプレイ
-----	--------

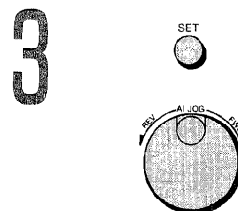
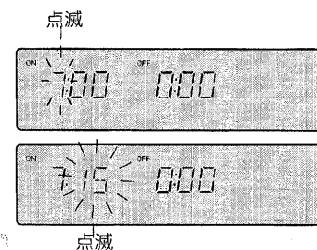
■予約時刻をセットする



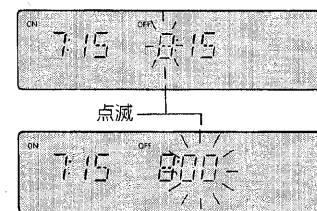
押し、
ダイヤルを回して「^{レコード}R-TIMER^{タイマー}」
を選ぶ



録音開始(ON)時刻のセット
押し、
ダイヤルを回して「時間」を合わせる
同じ手順で「分」を合わせる



録音終了(OFF)時刻のセット
押し、
ダイヤルを回して「時間」を合わせる
同じ手順で「分」を合わせる



押す
元の表示に戻ります。

タイマーを使う

操 作	ディスプレイ
-----	--------

5



録音したい放送局を選び、
デッキ2にテープを入れます

録音時に音を出したくないときは、音量調整つまみを絞っておきます。
(録音レベルに影響はありません。)

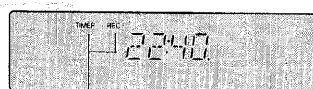


6



押す

予約完了—(もう一度押すと解除されます。)

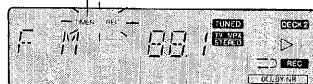


タイマー表示

●希望の時刻になると…

■タイマー録音終了後は、誤って録音されることを防ぐため、 キーを押して留守録タイマーを解除します。

点滅



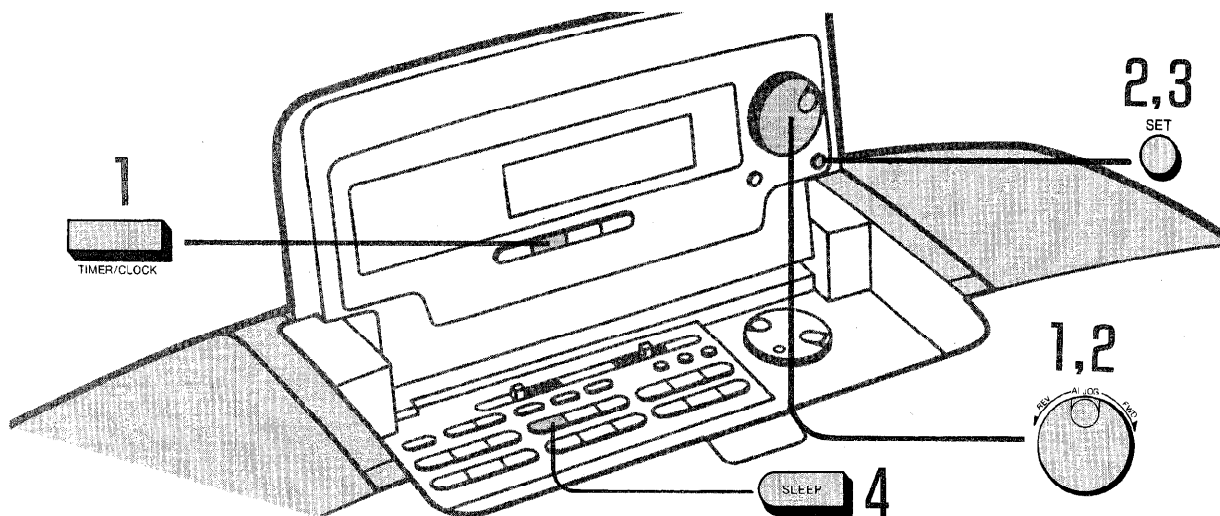
- おめざめタイマーと留守録タイマーを同時に予約することはできません。
(たとえばおやすみ前に深夜の番組を留守録タイマーで予約し、翌朝おめざめタイマーでめざめる、ということではできません。)

タイマーを使う

おやすみタイマーを使う


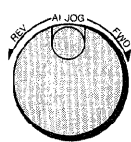


スリープ機能


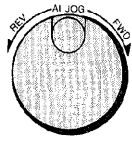


最高2時間まで、1分単位で好みの時間を指定して演奏することができますので、おやすみのまへのBGM代わりに便利です。電源を入れてから操作します




操 作	ディスプレイ
------------	---------------

■スリープ時間をメモリーするには（一度セットしたスリープ時間は記憶しています。）

1	 ↓ 	押し、 ダイヤルを回して「 ^{スリープ} SLEEP」 を選ぶ	 
---	---	--	--

2	 ↓ 	押し、 ダイヤルを回してスリープ 時間をセットする ↖ : 0 : 01 - 0 : 02 - 0 : 03... ↗ : 2 : 00 - 1 : 59 - 1 : 58...	 
---	---	---	--

3		押す スリープ時間がメモリーされ、元の表示に戻ります。	
---	---	--------------------------------	--

タイマーを使う

操 作	ディスプレイ
-----	--------

■おやすみタイマーの使いかた

4



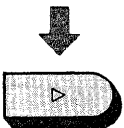
押し、

CDを演奏するとき

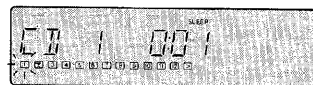
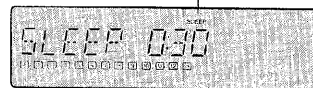


演奏したい音（ソース）を選ぶ

セットした時間が経過すると、電源が切れます。



スリープインジケータが表示



■毎日おやすみタイマーを使うときは

一度セットしたスリープ時間は、時間設定を変えるまで記憶しています。

次からは、^{スリープ}SLEEPキーを押すだけでおやすみタイマーが動作します。

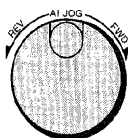
■スリープ動作中、残りの時間を変えるには



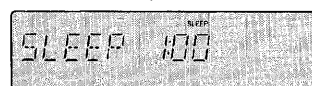
押し、スリープ時間が表示されている間（約5秒間）にダイヤルを回して時間を変える



スリープ時間



注：このとき、変更した時間は記憶されません。ふたたびスリープ操作をしたときは、変更する前の時間がセットされています。



■途中でスリープ動作を止めるには

電源キーを押して電源を切ってください。

■残りのスリープ時間を確認するには



キーを押します。


タイマーを使う

おやすみ、おめざめ、留守録タイマーを合わせて使う

おやすみタイマーとおめざめタイマーを合わせて使う


たとえば、おやすみになりながらラジオ/TVサウンドを聞き、翌朝CDサウンドでめざめることができます。

1

- ①おめざめ時刻をセット
- ②CDを演奏状態にして音量を調整し、
- ③  を押す。(電源が切れる)

(☞48ページ)

2


- ①  を押す
- ②好みの放送局を選び、音量を調整する

(☞52ページ)

おやすみタイマーと留守録タイマーを合わせて使う


たとえばおやすみになりながらCDを聞き、その後深夜の番組を録音することができます。

1

- ①留守録時刻をセット
- ②録音したい放送局を選び、デッキ2にテープを入れる。
- ③  を押す。(電源が切れる)

(☞50ページ)

2

- ①  を押す
- ②CDを演奏し、音量を調整する

(☞52ページ)

●タイマーとスリープで両方CDを聞くときはそれぞれで異なった予約曲のセットはできません。また、タイマー演奏でプログラムプレイをセットしたときは、スリープ時もその演奏になります。(曲の予約後はCDの出し入れをしないでください。予約が解除され、1曲目からの演奏になります。)

●おやすみタイマー時に音量調整をしても、おめざめタイマー演奏時にはセットした位置に戻ります。

タイマーセット スリープ タイマー動作時



タイマーを使う

おやすみ、おめざめ、留守録タイマーを合わせて使う

たとえばおやすみになりながらラジオを聞き、翌朝CDでめざまし、その後FM放送の留守録音をすることができます。

1

- ① おめざめ時刻をセット
- ② 留守録時刻をセットし、デッキ2にテープを入れる。
- ③ おめざめ用のCDを入れ、演奏状態にして音量を調整し、
- ④ **PLAY-TIMER** を押す。(電源が切れる)

2

- ① **SLEEP** を押す
- ② 好みの放送局を選び、音量を調整する

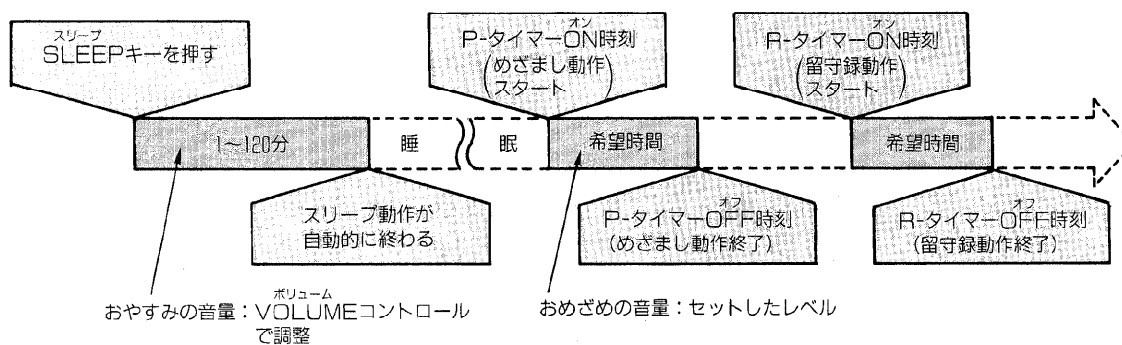


3

■ おでかけ前に、**PLAY-TIMER** を押しておめざめタイマーを解除し、

- ① 録音したい放送局を選び、
- ② **REC-TIMER** を押す。

■ 動作のながれ



CDのタイトルや放送局名を登録する

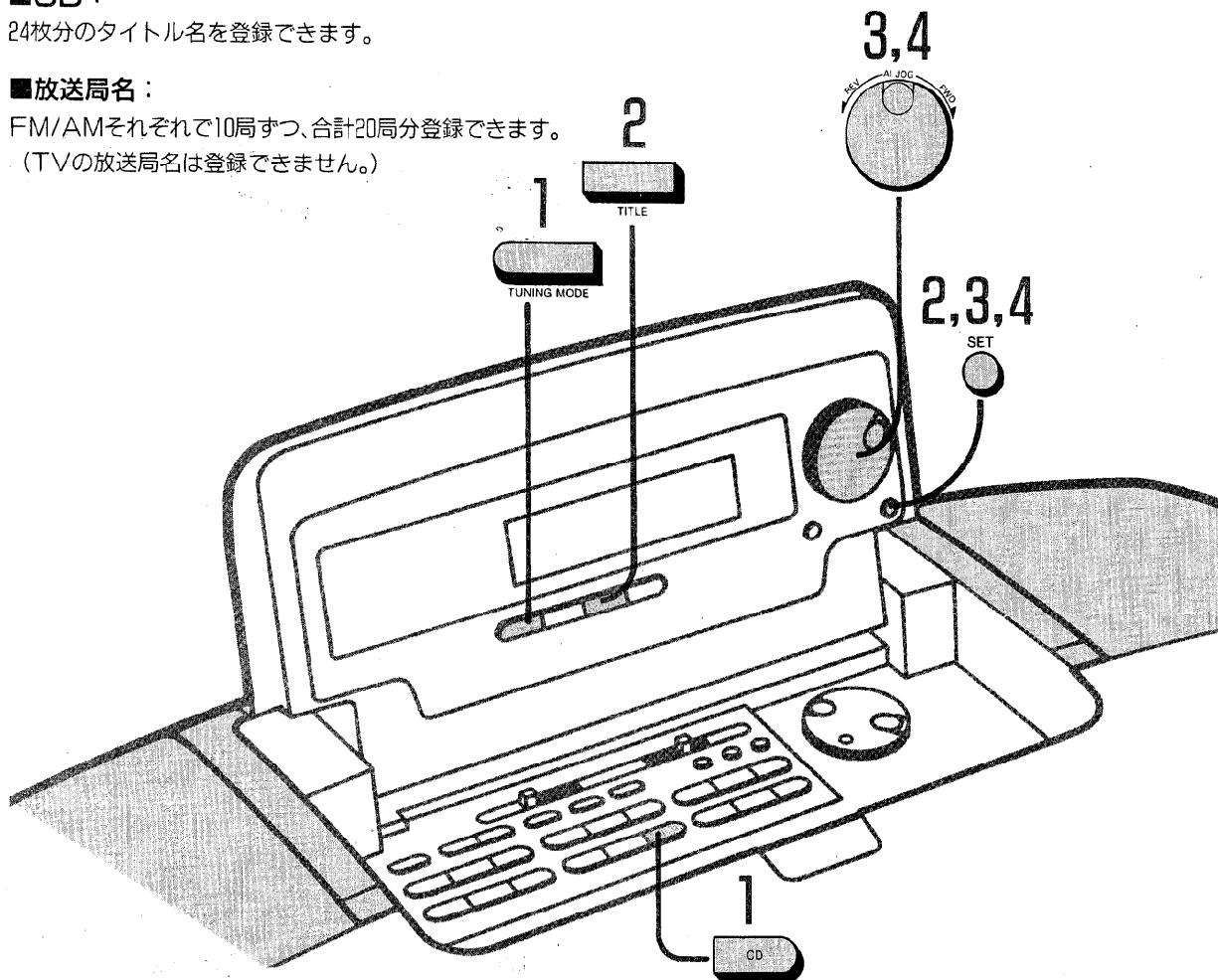
セットしたCDのタイトル名や、プリセットした放送局名を登録/表示させることができます。
(最大8文字、ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ0123456789-(ハイフン)/(スラッシュ)
_(スペース)の組合せ)

■CD :


24枚分のタイトル名を登録できます。

■放送局名 :


FM/AMそれぞれで10局ずつ、合計20局分登録できます。
(TVの放送局名は登録できません。)



CDのタイトルを登録するとき

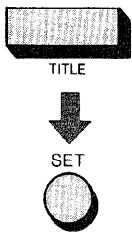

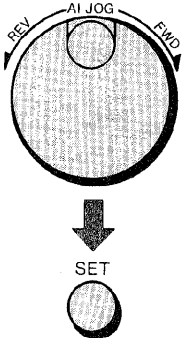

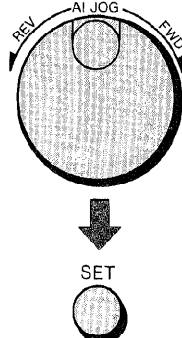

1  を押し、ディスクを入れて停止状態にします。

放送局名を登録するとき

1 ①あらかじめ、放送局のメモリー(プリセット)を済ませておきます。
( 20ページ)

②  を押し、^{プリセット}「PRESET」モードにします。

CDのタイトルや放送局名を登録する

	操 作	ディスプレイ
2	 <p>押す</p>	 <p>点滅</p>
3	 <p>ダイヤルを回して、文字を選び、 (文字が1文字ずつ登録される。) ⌋ : () : スペースから、A-B-C...と変わります。 ⌋ : () : スペースから、/(スラッシュ)→ (ハイフン) → 9→8...と変わります。</p> <p>押す</p>	
4	 <p>くり返して登録完了</p> <p>同じ手順で8文字目までくり返します。 タイトルが8文字以下のときでも、スペース() を選んで SET キーを押して8文字まで進めます。</p> <p>間違えたときは： CANCEL キーを押すと一つま えの文字に戻ります。</p>	

■登録した文字を訂正するには

上記と同じ手順で変更できます。

文字を削除したいときは、スペース()を選んで SET キーを押します。

■CDを25枚以上登録しようとする

- ①ディスプレイにFULL(フル)表示の後、SELECT(セレクト)表示が出ます。
- ②ダイヤルを回すと登録済の24枚分のタイトルが順次表示されますので、入れかえたいCDタイトルを選びます。
- ③入れかえるタイトルを表示し、SET キーを押して上記手順3,4をします。



- すべて空白(スペース) () で登録することはできません。

■表示を切替えるには

TITLE を押すと、元の表示に戻ります。



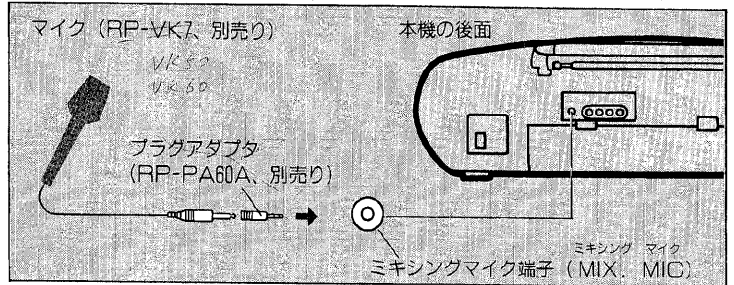
テープなどに合わせてマイクで歌う

カラオケをするには

マイクを接続し、好みの演奏状態にします。

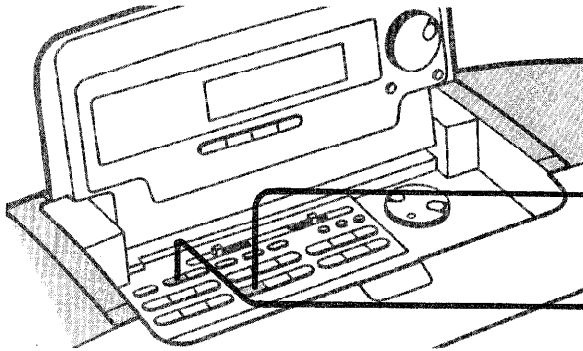
■操作のしかた

各ソース（CDやラジオ、テープ、外部機器）を演奏状態にします。



カラオケを録音するには

■テープとのカラオケを録音するとき



- 1 マイクを接続し、テープを入れる
デッキ1: 再生用 (カラオケ) テープ
デッキ2: 録音用テープ
- 2 押し、^{テープ}「TAPE」を選ぶ
- 3 押し
演奏/録音が始まります。

■テープ以外のソース(CDや^{オース}AUXなど)とのカラオケ録音をするとき

1 マイクを接続し、テープを入れ、ドルビーNR、リバースモードを選ぶ
デッキ2に録音用テープを入れます。

2 キーを押す
録音待機状態

3 または を押す
録音開始

■生録音をするには(マイクからの録音)

1 を押し、^{テープ}「TAPE」を選ぶ

2 テープを入れ、ドルビーNR、リバースモードを選ぶ

3 を押し、 または キーを押す



- マイクを使わないときは、マイクをミキシングマイクジャックから抜いてください。
- マイクを使っているとき、ハウリング(ピーという音)が起こることがあります。そのときはマイクをスピーカからできるだけ離すか、音量を小さくしてください。

- CDとのカラオケをしているときは、CDの演奏中のみ音声が出ます。停止、または一時停止中では音は出ません。

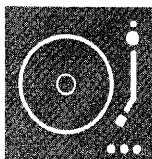


外部機器との接続

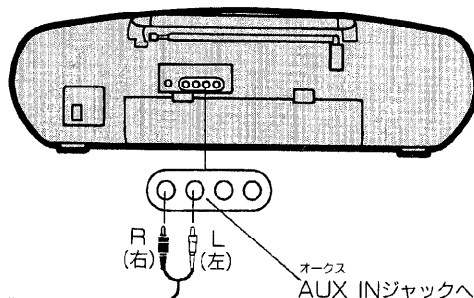
接続前に、各機器の電源は切ってください。

本機でレコードを聞く

レコードプレーヤ
(SL-J7: 別売り)



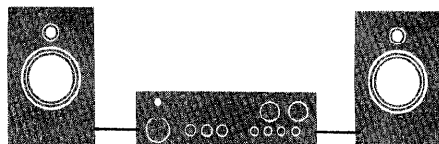
動作切換えキーは **TAPE/AUX** を押して
「**AUX**」を選ぶ。



オーディオ
AUX INジャックへ

CDをステレオセットで聞く

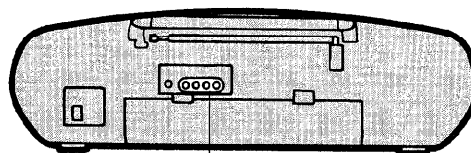
ステレオセット



L (左) R (右) AUX(補助入力)端子へ

動作切換えキーは **CD** を押して
「**CD**」を選ぶ。

ピンコード (RP-CA23A、別売り)



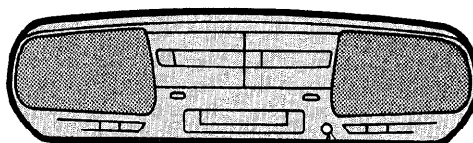
アウト
CD OUT
(CD出力)
端子へ

ヘッドホンで聞く

ヘッドホン
(RP-HT90、別売り)



耳を刺激するような大きな音量で、
長時間お聞きになることは避けて
ください。



ホーンズ
ヘッドホン (PHONES) ジャックへ

その他の別売りアクセサリ

お求めのときは販売店へお確かめください。

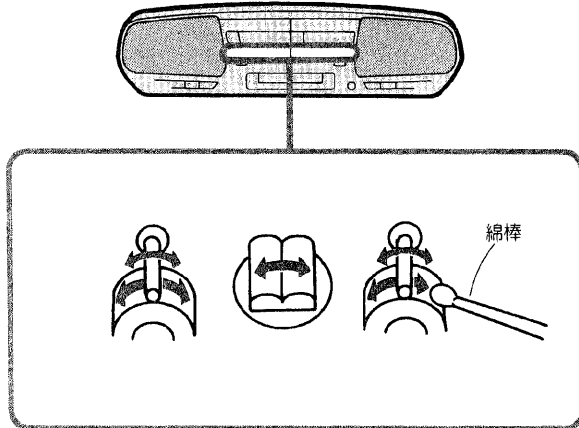
- | | | | |
|-----------------|----------|-----------------|----------|
| ● マイクロホン | RP-VK7 | ● コンパクトディスククリーナ | RP-CL300 |
| ● プラグアダプタ | RP-PA60A | ● ヘッドクリーニングキット | RP-919 |
| ● コンパクトディスククリーナ | RP-CL200 | ● ヘッドホン | RP-HT90 |




接続できるプレーヤは、イコライザアンプ付きのものに限ります。

お手入れ

ヘッド部のお手入れ



音質の劣化を防ぐため、約10時間ご使用ごとに

1.  ボタンを押してカセットホルダを開ける。
2. 綿棒か、ヘッドクリーニングキット (RP-919、別売り) で清掃する。
デッキ1、デッキ2とも綿棒で、テープが当たる面を清掃します。

■ヘッドの消磁

ヘッドが帯磁すると雑音の多い音になります。
市販のヘッド消磁器で時々消磁してください。

キャビネットのお手入れ



ベンジン、シンナー、殺虫剤
アルコール、

化学ぞうきん

柔らかい布で拭いてください。

汚れがひどいときは水か石鹼水を含ませた布で拭き、後は空拭きをしてください。

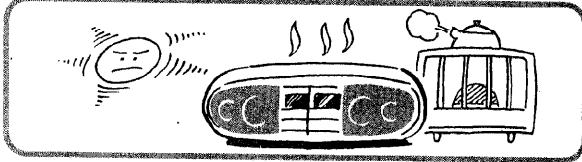


- 注油は絶対にしないでください。故障の原因になります。

使用上のご注意

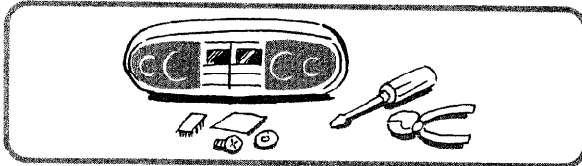
安全にお使いいただくために

- 高温になるところに放置しないでください。



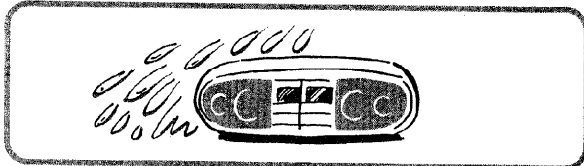
- 夏期の閉め切った車内（100℃に達することもある）や、長時間直射日光の当たるところ、暖房器などの近くで使用したり、放置しないでください。
60℃以上の高温になると、キャビネットが変形、変色したりすることがあります。
- 風呂場など、湿気の多いところやほこりの多いところでは使用しないでください。

- 本機内部には触れないで



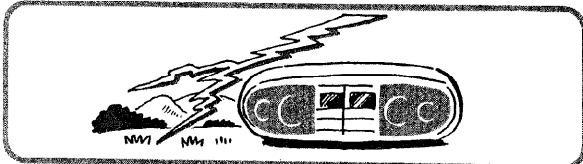
改造したり、不用意に内部をさわると、感電や故障の原因になります。
内部に金属類（針、ヘアピンなど）を差しこむと感電や故障の原因になります。

- 本機に水がかかったときは



ただちに使用を中止して、お求めの販売店にご相談ください。
そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあり、たいへん危険です。

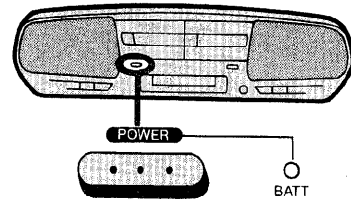
- 落雷にご注意

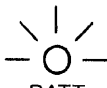



野原などで落雷の危険性のあるときは、アンテナをたたんで使用を中止してください。

乾電池電源で使用時の電池交換のめやす

本機前面のバッテリーチェックインジケータの点灯状態でわかります。
ACコードを本機から抜き、電源を入れてチェックしてください。



 BATT	<p>明るく点灯 そのまま使用できます。</p>
 BATT	<p>消えている（または暗い） 乾電池は消耗しています。 すべて新しい乾電池と交換してください。</p>

- 大切な録音をするときは、すべて新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- こまめに電源を切りながら使うほうが、乾電池は長持ちします。

■乾電池は使いかたを誤ると破損や液漏れ、破裂の恐れがあります。次のことは必ずお守りください。

- 新しい乾電池と使用した乾電池は混用しないでください。
- 乾電池は充電式ではありません。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 同じ種類の乾電池を入れて下さい。
- 火の中への投入や、ショート（短絡）、分解、加熱などをしないでください。
- 使用しないときは電源を確実に切ってください。

故障!?と思うまえに

修理を依頼する前にもう一度次の表でご確認ください。それでもなお異常のときは、「アフターサービス」(P.63ページ)の内容にしたがって、お求めの販売店へご相談ください。

こんなときは		ここをご確認ください
CD 関係	CDを入れてもディスプレイに総曲数などの表示が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●乾電池が消耗していませんか? ●ディスクを表裏逆に入れていませんか? ●ディスクに露がついていませんか?
	特定の箇所が正しく演奏されない	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスクが汚れていませんか? ●ディスクに傷がありませんか?
テープ 関係	録音ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●テープに誤消去防止用の安全片はついていますか?
	早送り/巻戻しが遅い	<ul style="list-style-type: none"> ●乾電池が消耗していませんか? ●カセットテープの回転が重くありませんか? (鉛筆などをテープの回転穴に挿入し、手で回してみても回転の重いテープは使用しない。)
その他	操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●セットが露付き状態になっていませんか? (約1時間待ってから操作してください。) ●電源を乾電池に切替えたとき、電源コードが本体に差しこまれたままになっていませんか? ●タイマーキーが押されていませんか?
リモコン 関係	リモコンで操作できない、または操作できても正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンの乾電池は正しくセットされていますか? ●乾電池が消耗していませんか? ●CDやテープはセットされていますか? ●リモコンと本体との距離が離れすぎたり、途中で障害物がありませんか? ●リモコンの送信部を本体のリモコンセンサに正しく向けていますか? ●リモコンセンサに強い光(高周波点灯の蛍光灯や直射日光など)が当たっていませんか? ●デッキ2側のカセットホルダが開いていませんか?

露付き現象について

寒い冬、暖房の効いた部屋の窓ガラスに水滴が付きますが、この現象を露付きといいます。本機はCD部にレンズを内蔵していますから、次のような場合にレンズに露付きが起こることがあります。

- 暖房を始めた直後の部屋
- 湯気が立ちこめるなど、湿気が多い部屋
- 冷たいところから、急に暖かいところに持ちこんだとき

このような場合、正しく動作しないことがあります。

電源を入れ、約1時間待ってからご使用ください。

アフターサービス

保証書 (別に添付してあります) ●

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記載を確かめて販売店から受取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間 —ご購入日から1年間

修理を依頼される時 ●

「故障!?と思うまえに」の項にしたがって調べていただき、直らないときには次の処置をしてください。

●保証期間中は

おそれいりますが、製品に保証書を添えて、お求めの販売店までご持参ください。保証書の規定にしたがって販売店で修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

お求めの販売店に、まずご相談ください。

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

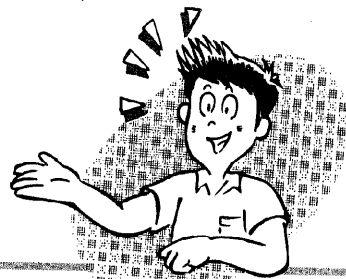
補修用性能部品の最低保有期間 ●

本機の補修用性能部品 (機能維持のために必要な部品) の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。

この期間は通商産業省の指導によるものです。

アフターサービス等についておわかりにならないときは ●

お求めの販売店または最寄りの「ご相談窓口」(別紙ご参照)にお問合せください。



ご存じでしたか?

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコード、その他の録音物 (ミュージックテープ、カラオケテープなど) の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを、売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利 (店のBGMなど) のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部または最寄りの支部におたずねください。

日本音楽著作権協会

本部	☎03 (502) 6551
北海道支部	☎011 (221) 5088
東北支部	☎022 (264) 2266
大宮支部	☎048 (643) 5461
東京支部	☎03 (562) 4455
西東京支部	☎03 (232) 8301
横浜支部	☎045 (662) 6551
静岡支部	☎0542 (54) 2621
中部支部	☎052 (586) 1155
北陸支部	☎0762 (21) 3602
京都支部	☎075 (251) 0134
大阪支部	☎06 (244) 0351
中国支部	☎082 (249) 6362
四国支部	☎0878 (21) 9191
九州支部	☎092 (441) 2285
那覇出張所	☎0988 (63) 1228

定 格

ラジオ部

受信周波数：TV：1-62ch
FM：76.0-90.0MHz
AM：522-1629kHz

コンパクトディスクプレーヤ部

標本化周波数：44.1kHz
復号化：16ビット直線
光源：半導体レーザー（波長780nm）
オーディオ
チャンネル数：2チャンネルステレオ
周波数特性：20-20000Hz（+1/-2dB）
ワウ・フラッタ：測定限界以下

テープレコーダ部

トラック方式：ステレオ
録音方式：交流バイアス
消去方式：交流消去
モニタ方式：バリアブルサウンドモニタ
周波数範囲：ノーマルテープ：30-16,000Hz（EIAJ）
クロムテープ：30-17,000Hz（EIAJ）
メタルテープ：30-18,000Hz（EIAJ）

時計/マイコン部

電源：乾電池；DC6V（単3形乾電池4個）
電池持続時間：約1年間
（別売り乾電池パナソニックネオブラックR6P
使用時）

リモコン部

電源：乾電池；DC3V（単4形乾電池2個）
電池持続時間：約1年間
（パナソニックネオブラック乾電池R03P使用時）
最大外形寸法：70(W)×175(H)×27(D)mm（EIAJ）
重量：約125g（乾電池を含む）

便利メモ

（おぼえのために、記入
されると便利です。）

ご購入年月日	年	月	日	品番	RX-DT77
ご購入店	☎	()	-		
最寄りのご相談窓口	☎	()	-		

共通部

スピーカ：ウーハ：10cm丸形2.7Ω×2個
ミッドハイ：8cm丸形8Ω×2個
入力端子：AUX：200mV（47kΩ）
MIX MIC：2.5mV、適合マイクインピーダンス
200~500Ω
出力端子：ヘッドホン：32Ω
CD：1.1V（EIAJ）
実用最大出力：低域用：7W+7W（EIAJ）
（DC時） 中域用：3W+3W（EIAJ）
電池持続時間：〈ラジオカセット部〉
約6時間（EIAJ録音時）
約4時間（EIAJ音楽再生時、Vol. 8分目程度）
〈CD部〉
約3時間（CD連続演奏時）
（別売り乾電池パナソニックネオブラックR20P
使用時）
電源：AC：100V、50/60Hz（付属電源コード使用）
乾電池：DC15V（単1形乾電池10個）
消費電力：AC33W
最大外形寸法：710(W)×293(H)×265(D)mm（EIAJ）
重量：約8.5kg（乾電池なし）
約9.6kg（乾電池を含む）

POWERスイッチ「切」時の消費電力…約3.4W（ACのとき）

□この定格は性能向上のため、変更することがあります。

松下電器産業株式会社 オーディオ事業部
☎571 大阪府門真市松生町1番4号 ☎(06)909-1021

RQT0743-S
F0890G2110